

障害福祉サービス共通評価基準① [障害児(者)／施設、グループホーム、ケアホーム]
(※就労系サービスも含む)

1 人権への配慮							
中項目	小項目(質問項目)	着 眼 点	コ メ ント				
(1)人権の尊重	①サービス提供の理念や基本方針が明示され、それらが事業計画等に具体化されていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1.理念や基本方針は、明文化され、公表されている。	<p>理念や基本方針は支関・各ユニットに掲示されている。重要事項説明書やパンフレットにも理念を掲げ理念を基本方針が示されている。利用者主体の視点の契約書や重要事項説明書で明確になっている。</p> <p>服務規律を全職員に配布し、職員は折りに触れ振り返ることができ職務に反映されている。法人の事業計画にも明示しており、役員と職員全員が把握しており、事業計画に重点課題として具体化されている。</p> <p>理念や基本方針は安易に変わることはないが、柔軟な姿勢で見直しを行っている。</p>				
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.理念や基本方針は、法人役員と全ての職員に配布されている。					
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.理念や基本方針は、利用者主体の考えに基づいている。					
		<input checked="" type="checkbox"/> 4.理念や基本方針は、事業計画や職員の倫理綱領等に反映され、かつ具体化されている。					
		<input checked="" type="checkbox"/> 5.理念や基本方針は、必要に応じて見直されている。					
	②職員の接し方は、利用者一人ひとりの尊厳を守っていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1.接し方(年齢や状況に応じた呼称・言葉づかいを含む)については、指針又はマニュアルが整備されている。		<p>就業規則に服務規律を明文化しており、尊厳を守る支援を行うことを定めている。毎月の個別の会議や班会議で利用者主体の支援ができているか確認している。</p> <p>各職員が自己チェックシートによる振り返りを年2回実施しており、管理職との面談が年3回行われている。</p> <p>七かりの事例があれば、毎月の会議で報告し、リーダー会議で確認の上、改善に努めている。禁忌を含む厳守事項は具体的に示されていないが、就業規則の中にある服務規律を遵守している。法人内研修も定期的に行われている。外部の研修にも参加している。</p> <p>虐待防止研修も毎年開催している。</p>			
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.接し方を点検・改善するための検討会議や研修が設けられている。					
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.禁忌を含む厳守事項については、職員に対して明確に示されている。					
		<input checked="" type="checkbox"/> 4.入浴や排泄等の介助は、同性介助を原則とし、介助者や介助方法については利用者の意向を尊重して決めている。					
		<input type="checkbox"/> 1.選挙権行使については、マニュアルが整備され、利用者の意思に基づく支援が行われている。					
	③市民として基本的な権利行使への配慮と支援がなされていますか。	<input type="checkbox"/> 2.郵便局、銀行、権利擁護機関、ボランティア団体等、地域の社会資源を利用したい場合の支援体制は利用者に明確に示されている。			<p>各種の事務室に電話があり、必要があればいつも利用できる。</p> <p>選挙権行使については、申し出があれば対応しているが、明確なマニュアルまでは整備していない。また金融機関利用による財産管理についても体制は未整備である。現状、選挙権に関しては、基本的には保護者の方の判断に委ねる形となっている。今後の課題として慎重に検討したいと考えている。</p> <p>信仰や交際に関しては、各個人の意思に基づき、それを妨げることは行わないというスタンスで取り組んでいる。</p>		
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.電話その他の通信機器が利用しやすいよう設置されている。					
		<input checked="" type="checkbox"/> 4.電話その他の通信機器の個人所有ができる。					
		<input checked="" type="checkbox"/> 5.手紙や電話などの取り次ぎは速やかに行われている。					
		<input checked="" type="checkbox"/> 6.信仰する自由・しない自由がある。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 7.交際したり・結婚する自由がある。						
16項目中 14項目 評価結果 (A)・B・C							
(2)プライバシーの保護	①プライバシーに配慮した事業所運営を行っていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1.プライバシーを保護するための留意事項が、それぞれのサービスのマニュアルの中に示されている。	<p>プライバシーを保護するための留意事項が個人情報保護マニュアルとして整備されており、必要に応じて改正を加えながら時代に即した具体的な内容になっている。居室は全て個室となっており、個人のプライバシーは守られている。</p> <p>各居室内の環境については、障害特性や意思を尊重し、安全や個々の快適さを考えて整備されている。「個人情報保護に関するマニュアル」は具体的なわかりやすい、情報保護や事務業務について明示している。</p> <p>電話は事務室に設置され、扉を閉めれば他の利用者から聞こえない環境下で利用できる。で、共同利用方式ではあるがプライバシーを守る配慮はなされている。</p> <p>七かりや事例があれば職員が内容を伝える等臨機応変に対応している。</p> <p>ボランティアや実習生を受け入れる際には、オリエンテーションのときに文書にて方針を明示し、わかりやすく説明している。</p>				
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.個人情報取り扱いや事務業務(安易に他の利用者のことを話してはならないことも含む)についての規定がある。					
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.ボランティア・実習生・見学者等の受け入れに際しては、プライバシーの保護について方針を示し、これは確実に守られている。					
		<input checked="" type="checkbox"/> 4.共同利用方式の電話等では、プライバシーを守るための配慮がなされている。					
		<input checked="" type="checkbox"/> 5.手紙や電話等については、通信の秘密が守られている。					
		<input checked="" type="checkbox"/> 6.プライバシーを保護するため、建物・設備その他の環境について、必要な改善は速やかになされている。					
6項目中 6項目 評価結果 (A)・B・C							
(3)人権の擁護	①体罰・虐待等(拘束、暴言、暴力、無視、放置等の権利侵害の防止策、及び万が一に備えた対応方法が定められていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1.体罰・虐待等については、具体的な例を示した上で禁止している。	<p>虐待防止を徹底するため「虐待防止のための指針」「虐待防止マニュアル」「虐待防止委員会編」「身体拘束適正化のための指針」を定めており、それらをファイリングしたものを各様ごとに整備している。</p> <p>七かりや事例は毎月の会議で共有し、確認しており、虐待防止のための実践に活かされている。</p> <p>虐待防止研修・身体拘束適正化研修は法人全体の内部研修として毎年実施されている。また外部研修にも積極的に参加し、その内容は全職員に共有されている。</p> <p>棟班会議で確認し、リーダー会議で共有している。</p>				
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.体罰・虐待については、就業規則・職務規程及びマニュアル等に明文化している。					
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.体罰・虐待については、日頃からミーティングや会議等で取り上げ、常に確認している。					
		<input checked="" type="checkbox"/> 4.利用者と接する場面で体罰・虐待等が起きないよう、接し方等の研修を行っている。					
		<input checked="" type="checkbox"/> 5.万一、体罰・虐待等が行われた場合の対応について規定が設けられている。					
	②事業所利用は、相談や苦情申し立てができる体制になっていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1.苦情の申し立ては、利用者のみならず、家族や利用者が信頼している第三者からでもできる体制になっている。		<p>重要事項説明書に苦情の申し立て先として、事業所の苦情に関する相談窓口や第三者委員の情報が載っている。行政機関や滋賀県運営適正化委員会の情報も載っており、十分な説明がなされている。</p> <p>苦情対応マニュアルが整備されており、具体的な対応手順が定められており、苦情等があった場合には速やかに担当者をはじめ各職員が対応できる体制になっている。速やかに対応したあとはきちんと記録し、全職員に周知し職務に活かしている。半導にきとめて法人の第三者委員会や事故苦情検討委員会に報告するとともに振り返りができている。</p> <p>苦情解決要綱・第三者委員会規定を設けており、利用者や利用者家族が施設に遠慮せず相談や苦情が申し立てできるようにしている。</p> <p>施設内で解決困難な苦情や相談が寄せられた場合には、法人内で検討するしたり、必要なら外部の権利擁護機関等に速やかに協力を求められる体制も整備されている。</p>			
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.相談・苦情申し立てについては、担当者が決まっており、そのことが利用者や家族等に文書をもって知らされている。					
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.相談・苦情に基づいて改善を求められた事項については、申し立て人に説明することが義務づけられている。					
		<input checked="" type="checkbox"/> 4.苦情の申し立てについては、職員のほかに、第三者も入れて解決する仕組みを取り入れている。					
		<input checked="" type="checkbox"/> 5.相談・苦情が事業所単独で解決困難な場合、外部の権利擁護機関や相談機関に協力を求めている。					
<input checked="" type="checkbox"/> 6.利用者や家族等に対して、外部の権利擁護機関や市町村の相談窓口の存在と役割を情報提供している。							
11項目中 11項目 評価結果 (A)・B・C							
(4)利用者本位・自立支援	①利用者の主体的な意見を尊重していますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1.利用者の意見の聞き取りをおこなっている。	<p>重度の知的障害の方が多く、日常の支援の中で意思を確認するよう努めている。</p> <p>食事は利用者にとって楽しみ方の一つであることから、食事の嗜好調査を毎年実施しており、その意見をメニューや献立に反映させている。誕生日にはリクエストメニューを提供するなど、利用者の主体的な意見を尊重している。</p> <p>意思決定を尊重した支援が必要であることと認識し、写真を使って伝えたり、日常の生活の中でよく利用者さんの表情等をよく見て判断している。</p> <p>重度の障害の方も多く中ではあるが、今できる範囲で意思確認や自己決定について具体的に確認していくための仕組み作りを模索している。</p>				
		<input type="checkbox"/> 2.利用者からの提案、申し入れのシステムがある。					
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.利用者に変更事項に関して意見を求めている。					
		<input checked="" type="checkbox"/> 4.定期的なアンケートを採り入れている。					
		<input checked="" type="checkbox"/> 5.本人の意思決定を尊重している。					
	②利用者の主体的な活動を支援していますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1.行事や旅行などのプランを利用者と一緒企画する。		<p>重度の障害をお持ちの方や利用者の高齢化が進む中、障害当事者活動に積極的な支援は困難な現状にある。</p> <p>職員からの提案も多いが、工夫してできる限り利用者の意見を聞き取り企画につなげる努力をされている。</p> <p>意思を表明された場合には、一緒に企画・実行したこともある。</p>			
		<input type="checkbox"/> 2.ピアカウンセリングやワークショップを利用している。					
		<input type="checkbox"/> 3.利用者自治会等の運営に対して、見守りと支援をおこなっている。					
	③利用者の主体的な社会参加を支援していますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1.地域資源の活用に向けて情報提供をおこなっている。			<p>入所されている方が使える制度に限られている中ではあるが、相談支援専門員に本人情報等を発信・共有し、連携しながら情報提供を行っている。</p> <p>地域の行事(お祭りや運動会など)には積極的に参加し、地域社会との積極的な支援をしている。</p> <p>平日の夕方や土日の余暇時間を利用して、近くへの買い物や外食などのニーズがあれば、個別に対応し個人の意志に基づき社会参加を支援している。</p> <p>自宅への外泊の希望があれば、移動支援などの制度が使える利用者は相談支援専門員につなぎながら支援を行っている。</p> <p>家に帰ることが難しい方には、敷地内の建物を使ってもらい家族とゆっくり過ごせるように場所の提供もしている。</p>		
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.地域社会との積極的な交流を支援している。					
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.個人の意志に基づく社会参加をおこなっている。					
		<input checked="" type="checkbox"/> 4.移動や外出支援のシステムを持っている。					
		<input checked="" type="checkbox"/> 5.外泊支援のシステムを持っている。					
	④わかりやすく情報を提供していますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1.情報提供については、わかりやすい工夫がされている。				<p>それぞれの障害特性により、情報の伝え方を検討している。</p> <p>情報量や内容によって負担になってしまつともあるため、毎日の予定や食事の献立、職員の配置等各ユニットごとに写真を使うなどの工夫をしている。</p> <p>職員が普段から利用者一人ひとりに丁寧に接しているからこその、利用者とのコミュニケーションの取り方により、適切な情報提供が行われている。</p>	
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.理解度にあわせた説明やパンフレットが用意されている。					
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.コミュニケーションの取り方を工夫している。					
		<input checked="" type="checkbox"/> 4.IT等の機器を活用している。					
⑤利用者の日常生活上の自立行為に対する見守りと支援の体制は十分ですか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1.利用者の日常生活上の自立行為について、見守りの姿勢を保ち、必要な時には迅速に支援するという方針を会議等で確認している。	<p>個別支援計画を前期と後期の年2回策定している。</p> <p>日常生活において自分でできることは取り組めるよう見守りながら支援できている。</p> <p>計画内容については、毎月ミーティングを行い、必要があれば随時見直している。</p> <p>毎月の各棟班会議で、自立行為による生活と活動の範囲が広がるように、職員の対応や事業所の整備が検討されている。</p>					
	<input checked="" type="checkbox"/> 2.日常生活上の自立行為への介助に関する判断については、あらかじめ利用者(及び必要に応じて家族等)と十分な話し合いが行われている。						
	<input checked="" type="checkbox"/> 3.自立行為による生活と活動の範囲が広がるように、職員の対応や事業所の整備は常に検討されている。						
21項目中 17項目 評価結果 (A)・B・C							

2 利用者に応じた個別支援プログラム

事業所の利用を希望する人達の個別ニーズは、自立生活や職業的自立を目指すとか、事業所内で安定した生活を実現したい等というように、多種・多様です。事業所の側はこうした利用者の個別のニーズに応えられるかどうか、事業所種別や事業所機能を含めて検討し、自らの事業所を利用に供することができるかどうか判断しなければなりません。また、事業所サービスの内容において、利用者の生活の質(QOL)を重視し、さらには自立を目指すエンパワメントの視点も忘れてはなりません。ここでは、それら2つの視点を重視して、障壁の内容や程度に拘わらず、利用者一人ひとりに個別支援が行われているか否かを評価します。まず、事業所利用の希望が示されると相談面接が行われます。そこで利用者の要望が明らかにされ、事業所側は、自らの基本方針やサービスの内容を説明します。利用が決定したら、事業所は、担当職員あるいは担当チームを決め、利用者や必要に応じて家族等とも相談しながら、個別支援計画を策定します。事業所利用の開始とともに、個別計画に基づくサービスが提供されますが、そのサービスは利用者の要望を満たすものになっているか否か絶えずチェックされる必要があり、その結果、個別計画は見直しされることもあります。ここでは、こうした一連のサービスの提供過程に関する事項を評価します。

中項目	小項目(質問項目)	着 眼 点	コ メ ン ト
(1)事業所利用の相談と選択	①利用者や家族等には事業所サービスの内容を十分理解した上で、事業所利用を選択するよう支援していますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1.相談面接では、事業所の基本方針・利用条件・サービス内容等について、資料や文書に基づいて説明している。 <input checked="" type="checkbox"/> 2.事業所を案内するだけでなく、体験する機会(注:事業所として独自に工夫しているサービス)を設けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 3.相談面接で明らかとなった、利用者の要望事項等を記録するとともに、記録した事項は、利用者(及び必要に応じて家族等)の確認を得ている。 <input checked="" type="checkbox"/> 4.他の事業所等の利用が望ましいと考えられる場合には、利用者(及び必要に応じて家族等)の了解を得て、連絡・依頼・紹介状の作成等を行い、必要な場合には同行して引き継ぐようにしている。	パンフレット等を活用し、説明している。 ショートステイの利用を通じて施設で過ごしていただける機会を提供している。 相談支援専門員と情報共有を密にし、必要なサービス利用につながるような支援を行っている。
4項目中 4項目		評価結果 (A)・B・C	
(2)個別支援計画の策定	①個別支援計画の策定にあたっては、利用者の状況を十分に把握していますか。 ②個別支援計画の策定や見直しのために会議等を開催していますか。 ③個別支援計画の内容は具体的に、同時に利用者(及び必要に応じて家族等)との合意が得られていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1.利用者(及び必要に応じて家族等)の要望を所定の様式で記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> 2.利用者自身の身体的・心理的・社会的状況を把握し、その評価(アセスメント)内容を所定の様式で記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> 3.事故や病気を防止するために利用者の行動の特徴や健康上の留意事項を確実に把握している。 <input checked="" type="checkbox"/> 4.個別支援計画策定のために、会議等を開催している。 <input checked="" type="checkbox"/> 5.個別支援計画の見直しを検討するための会議が定期的に行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 6.緊急に計画の見直しが必要な場合は随時会議・検討会を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 7.会議の内容は、所定の様式により記録・保存されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 8.会議には、関係職員のほか、利用者(及び必要に応じて家族等)も参加することができ、意見を反映している。 <input checked="" type="checkbox"/> 9.所定の様式により、個別支援計画は書面で示され、支援の目標・方法・期間等が具体的に記載されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 10.利用者(及び必要に応じて家族等)の参加・不参加に拘わらず、個別支援計画の決定は利用者(及び必要に応じて家族等)の同意のもとに行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 11.個別支援計画は、利用者が生活する地域の福祉サービスや社会資源を活用するよう内容になっている。	アセスメントシート・フェースシート様式を活用し記録している。 毎月モニタリングを実施し、年2回個別支援計画を策定している。 個人のケースファイルとは別に医療に関するファイルを作成し、医療情報・健康状態を把握している。 前期と後期の年2回個別支援計画を策定しており、モニタリングは毎月実施している。 毎月の会議の中で見直しの必要性があれば、棟班会議で検討し、モニタリングの上で計画の見直しを行っている。 会議の記録は会議録として保存し、全ての職員が確認できるようにしている。 個別支援計画には相談支援専門員の意見も反映されている。 統一の様式により、具体的なサービス内容や期間が明示されている。 決定は、本人・家族の様式により同意が得られている。 相談支援専門員の意向も反映されたサービス内容となっている。
11項目中 11項目		評価結果 (A)・B・C	
(3)個別支援計画の実施	①提供されているサービスは、個別支援計画に基づいて行われていますか。 ②サービスの適否を確かめ、必要に応じて改善を図っていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1.支援計画に基づくサービスの目標や方法を利用者(及び必要に応じて家族等)に対して、具体的に説明している。 <input checked="" type="checkbox"/> 2.個別支援計画に基づき提供される各種サービスは、マニュアル化されている手順に従って提供されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 3.提供されたサービスは、その内容、実施日時、回数、結果等が確実に記録されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 4.所定の手順に従ってサービスの適否を日常的にチェックし、利用者の満足が得られているか否かを確かめている。 <input checked="" type="checkbox"/> 5.サービスが不適切であったり、利用者の要望にできていない場合には、速やかに見直しが行われ、改善が図られている。 <input checked="" type="checkbox"/> 6.改善しても十分な結果が得られない場合、新たなサービスの開発を試みるとか、他の事業所等を利用することなども検討することになっている。	サービス提供にあたっては、各個人ごとに手順書を作成し実施している。 提供状況については、日々の業務日誌に記録し、職員間で申し送りを行っている。 相談支援専門員にもサービス提供状況を報告し、情報共有しながら必要なサービス利用につなげている。
6項目中 6項目		評価結果 (A)・B・C	
(4)地域生活への移行	①地域生活を身近なものに感じられるよう、いろいろな機会や情報を提供していますか。 ②必要に応じて、地域生活への個別移行計画が策定されていますか。(注:家族等のもとから進んでいた利用者が単身生活等を希望する場合は含む) ③個別移行計画の内容は、無理なく地域生活に適應できるものですか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1.グループホーム等の見学や体験の利用ができるように、情報や資料を用意している。 <input checked="" type="checkbox"/> 2.地域生活に関しての利用者の相談に応じたり、利用者自身の学習を支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 3.地域生活に関する利用者の意向を、折りに触れて確かめるよう努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 4.地域生活への移行計画の策定に際しては、地域の関係機関からも協力を得ている。 <input checked="" type="checkbox"/> 5.策定された個別移行計画は、利用者の合意に基づいている。 <input checked="" type="checkbox"/> 6.実際に移行する場合には、そのための支援プログラムを用意されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 7.地域生活への移行支援では、できる限り利用者が主体的に生活設計するよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 8.一定の期間は、試験的に地域生活を体験することのできるプログラムがある。 <input checked="" type="checkbox"/> 9.近隣の住民には、必要に応じて、利用者に対する理解と協力を求める機会を設けている。	地域移行に関しては、各個人のニーズに応じて対応している。 地域移行についての意向の把握・支援が次年度より義務化の方向ではあるが、本人の障害特性を考慮しながら検討していく必要がある。 グループホーム等へ移行された方については、利用者の同意を得たうえで進めている。 地域移行後も移行先と情報共有し、必要があればフォローアップし、本人の思いに寄り添った支援を行っている。 地域移行プロジェクトにて協議している。 地域移行への積極的な参加を通じて、地域住民への理解と協力を求めている。
9項目中 9項目		評価結果 (A)・B・C	
(5)退所後の支援	①退所後のアフターケアを実施していますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1.利用者の了解を得て、退所後も定期的に連絡し合う体制を設けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 2.退所後の、緊急事態等の場合に備え、相談窓口(担当者)を置いている。 <input type="checkbox"/> 3.退所者を支える組織(例えば、退所者の会や家族会等)を育成し、事業所もこれに協力している。	退所後も必要があれば、連絡が取れる体制を継続している。
3項目中 2項目		評価結果 A・B・C	
(6)エンパワメントの視点	①利用者のエンパワメントの理念に基づいたプログラムがありますか。	<input type="checkbox"/> 1.社会生活を高めるために、障害の理解や調理・洗濯・買い物・交通機関利用等についての学習・訓練プログラムが用意されている。 <input type="checkbox"/> 2.事業所外の社会資源について、十分な情報が提供され、そのための学習や体験の機会が設けられている。 <input checked="" type="checkbox"/> 3.必要に応じて、自己表現の技能や話し方について支援している。 <input type="checkbox"/> 4.利用者自身が人権意識を高められるように、情報や資料の提供を行っている。	そもそも重度障害の方のエンパワメントの理念・手法などが確立されていない現状がある。 そのため、当該項目に関しては、評価の基準自体が不明瞭であるため、評価できない。エンパワメントの理念を明確にされたうえで、評価項目内容の再考が必要である。
4項目中 1項目		評価結果 A・B・C	
(7)家族との連携	①家族には日常的に情報が提供され、必要場合はいつでも連絡できますか。 ②帰宅中の利用者も家族のために支援していますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1.面接・訪問・連絡ノート・事業所だより等を介して、家族には組織的に情報が伝えられ、また家族からの情報も得られるようになっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 2.家族が希望する場合は、生活や活動の様子を随時見ることができている。 <input checked="" type="checkbox"/> 3.家族向けの広報紙発行や、家族向けの講演会や学習会等を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 4.事業所利用とは直接関係ない事務でも、家族からの相談には幅広く応じている。 <input checked="" type="checkbox"/> 5.休日や帰宅中の過ごし方については必要に応じて利用者及び家族等と話し合いながら主体的な生活が営めるよう支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 6.自宅での生活に際しては、地域の社会資源を有効に利用するように、あらかじめ必要な情報を収集し、提供している。 <input type="checkbox"/> 7.帰宅中の生活では、利用者の生活の質(QOL)をより高められるよう利用者や家族と協議して具体的なプログラムを用意している。	家族向け通信を毎月発行し、配布している。 施設見学は随時可能としており、施設行事には広く参加を促している。 家族支援室を設置し、相談や事務手続きについて対応している。 帰宅ノートを作成し、施設での状況等を記入し家族に渡している。帰宅の様子をそのノートに記入していただき、お互いの情報を共有している。 帰宅時に交通手段がない場合には、移動支援を使える方は相談員と連携しながら活用している。
7項目中 6項目		評価結果 (A)・B・C	

3 就労支援事業所の固有のサービス			
就労支援事業所には、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練や生産活動その他の活動の機会の提供など、他の事業所にはない固有のサービスが必要です。さらに障害種別を超えたサービスが要求されています。 ここではそのような観点から、機能の評価します。			
中項目	小項目(質問項目)	着 眼 点	コ メ ン ト
(1)働く場としての作業内容	①障害程度、特性にあわせた作業内容を準備していますか?	<input type="checkbox"/> 1.サービス提供にあたって、多様な作業内容を用意している。	
		<input type="checkbox"/> 2.利用者の作業内容について選択ができるよう配慮している。	
		<input type="checkbox"/> 3.作業工程の標準化をしている。作業の基本動作のマニュアルがある。	
		<input type="checkbox"/> 4.作業の月別・年別作業計画を利用者とともに作成している。	
		<input type="checkbox"/> 5.計画に沿った適切な仕事量を確保している。	
		<input type="checkbox"/> 6.作業に対する事業所(施設)と利用者の個別・全体の話し合いの場を定期的に持っている。	
		<input type="checkbox"/> 7.利用者の作業能力を評価するマニュアルがある。	
		<input type="checkbox"/> 8.作業の月別・年別業務実績を障害程度、特性に配慮しながら、利用者に報告している。	
		<input type="checkbox"/> 9.障害程度、特性に配慮し、個別の休憩を保障している。	
	9項目中 項目 評価結果 A・B・C		
(2)働くことへの報酬(工賃・賃金)	①工賃規程はありますか?	<input type="checkbox"/> 1.工賃規程を整備している。	
		<input type="checkbox"/> 2.工賃規程は事業所(施設)と利用者の合意により設定している。	
		<input type="checkbox"/> 3.工賃支給は工賃規程により適正に行われている。	
		<input type="checkbox"/> 4.工賃規程の見直し等の協議は定期的に行われている。	
		<input type="checkbox"/> 5.事業所(施設)独自に最低工賃を設けている。	
		<input type="checkbox"/> 6.工賃の目標値を設定している。	
	②利用者に工賃に対する説明をしていますか?	<input type="checkbox"/> 1.利用者に個別に工賃に関する説明をしている。	
		<input type="checkbox"/> 2.工賃に対する事情・要望等の受付担当者を置き、その機会を個別に設けている。	
		<input type="checkbox"/> 3.事情や要望が引き出せるような学習の場を障害程度、特性に応じて定期的に開いている。	
		9項目中 項目 評価結果 A・B・C	
(3)製品管理/販売について	①製品管理/販売は適正に行われていますか?	<input type="checkbox"/> 1.製品管理は適正に行われている。	
		<input type="checkbox"/> 2.価格は、きちんとした原価計算のもと、適正に定めている。	
		<input type="checkbox"/> 3.自主製品について、固有の販売ルートや販売店(委託販売を含む)がある。	
		<input type="checkbox"/> 4.受託作業について、適正に業者との契約を交わしている。	
	4項目中 項目 評価結果 A・B・C		
(4)働く場としての環境づくり	①働きやすい作業環境を作ることに配慮していますか?	<input type="checkbox"/> 1.作業空間に作業しやすいスペースを確保している。車椅子利用者や自閉性障害等のある人にも作業しやすい環境を整備している。	
		<input type="checkbox"/> 2.作業を行ううえでの室内の採光(照明器具を含む)は適切に整備している。	
		<input type="checkbox"/> 3.室内の色彩・音響等は、作業を快適に進められるよう配慮している。	
		<input type="checkbox"/> 4.室内の騒音対策等(遮音)は、作業を円滑に進められるよう配慮している。	
		<input type="checkbox"/> 5.室内の換気および温度・湿度等は快適に作業ができるよう配慮している。	
	②バリアフリーへの対応はしていますか?	<input type="checkbox"/> 1.車椅子等の利用者が移動しやすいよう床面段差をなくしている。	
		<input type="checkbox"/> 2.移動空間やトイレ等に手すりを設置している。	
		<input type="checkbox"/> 3.視覚障害者等利用者がわかりやすいよう、表示物、案内板(点字、音声案内、ピクト表示等)に配慮している。	
		<input type="checkbox"/> 4.2階建て以上の場合、エレベータを設置している。	
	③休憩・交流スペースは快適に整備されていますか?	<input type="checkbox"/> 1.休憩・交流スペースは疲れを癒せるよう快適な空間であるよう配慮している。	
<input type="checkbox"/> 2.喫煙場所が別に設けられている。			
11項目中 項目 評価結果 A・B・C			
(5)働く場としての条件づくり	①個々の障害程度に配慮した作業活動条件を整備していますか?	<input type="checkbox"/> 1.作業台・机・椅子等は障害部分を考慮した条件になっている。	
		<input type="checkbox"/> 2.作業内容により利用者に適した治具・工具を活用している。	
		<input type="checkbox"/> 3.作業機械等の整備を行い安全性は確保している。	
	②作業内容に適した服装をするよう配慮していますか?	<input type="checkbox"/> 1.作業内容に適した服装をするよう配慮している。	
		<input type="checkbox"/> 2.作業服は、事業所として貸与・支給している。	
	③就業の規則等は整備していますか?	<input type="checkbox"/> 1.利用者向けの就業規則を整備している。	
		<input type="checkbox"/> 2.年次有給休暇や特別休暇等、各種休暇制度が就業の規則にきちんと整備している。	
		<input type="checkbox"/> 3.利用者の障害程度、特性に応じた作業時間の設定になっている。	
		<input type="checkbox"/> 4.作業上の災害に対する災害補償に関する規程を整備している。	
	④労働安全衛生の視点に立った配慮をしていますか?	<input type="checkbox"/> 1.利用者に対する労働安全衛生の視点に立った配慮をしている。	
<input type="checkbox"/> 2.利用者に対する安全教育・指導をしている。			
<input type="checkbox"/> 3.労働安全衛生を担当する担当者を置いている。			
<input type="checkbox"/> 4.労働安全衛生に関するマニュアルを整備している。			
13項目中 項目 評価結果 A・B・C			
(6)働く場としての職員体制	①職員の学習・交流の場を設けていますか?	<input type="checkbox"/> 1.外部の作業に関する研修の機会を積極的に設けている。	
		<input type="checkbox"/> 2.異業者者との交流を積極的に行っている。	
		<input type="checkbox"/> 3.職種・商品開発研究を積極的に行っている。	
	②作業開拓・営業の専任(担当)者がいますか?	<input type="checkbox"/> 1.作業開拓・営業の専任(担当)者がいる。	
		<input type="checkbox"/> 2.積極的に作業開拓・営業活動をしている。	
		5項目中 項目 評価結果 A・B・C	

(7)一般就労に向けて	①一般就労に向けた個別の計画を作っていますか?	<input type="checkbox"/> 1.一般就労に向けての個別支援マニュアルがある。 <input type="checkbox"/> 2.一般就労に向けて利用者本人の意欲を引き出す努力をしている。 <input type="checkbox"/> 3.一般就労に向けて利用者へ情報提供をしている。 <input type="checkbox"/> 4.一般就労に向けて、他機関との連携を保っている。	
	②一般就労に向けての職場実習は行っていますか?	<input type="checkbox"/> 1.一般就労に向けての職場実習を適時、計画・実施している。 <input type="checkbox"/> 2.職場実習に向けての体制や諸規定が整備されている。	
	③一般就労後のフォローアップ体制は出来ていますか?	<input type="checkbox"/> 1.一般就労した後のフォローアップ体制が出来ている。 <input type="checkbox"/> 2.離職した利用者が再入所できるように受け入れ体制を整えている。	
8項目中 項目 評価結果 A・B・C			
(8)自己実現の場として	①障害程度、特性にあわせた支援内容を準備していますか?	<input type="checkbox"/> 1.サービスプログラムは、専門家の意見もとられるなどして、集団で討議し作成している。 <input type="checkbox"/> 2.必要な人には、体育・音楽や芸術などの活動を取り入れている。 <input type="checkbox"/> 3.障害に適した環境づくりがなされている。 <input type="checkbox"/> 4.利用者の自己実現についての職員の年間研修計画が作成されている。	
	4項目中 項目 評価結果 A・B・C		

4 日常生活支援サービス

利用者がその人らしい快適な生活を送るためには、利用者自身の自己決定を尊重するサービスの基本理念が必要になります。また、サービスの提供に際しては、支援の方法・環境の整備・介護技術等の質を高める努力を重ねながら、一方で会議や研修を通じて職員の共通認識を図る必要があります。一人ひとりの利用者の支援のためには、利用者(および必要に応じて家族等)の意向を尊重しながら、個別支援計画を策定し、それに基づきサービスを提供しなければなりません。その場合、意思伝達に制約のある人については、その人固有の伝達手段を探って、できる限り利用者の要望や意思を理解しようとする努力が重要です。個別支援計画の策定に当たっては、「利用者に応じた個別プログラム」で示されるプロセスに沿って、自己決定に必要な情報を提供します。そして、実施しているサービスの内容については、定期的にチェックしながら、計画の改善を図って行くことが重要です。ここではこのように評価します。

中項目	小項目(質問項目)	着 眼 点	コ メ ン ト
(1)食事	①個別支援計画に基づいた食事サービスが用意されていますか?	<input checked="" type="checkbox"/> 1.食事の介助等、支援方法に関してマニュアルが用意されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 2.利用者の体調や身体状況により、必要に応じて個別の食事を用意している。	各個人ごとに手順書を作成し、支援している。 各ユニットごとのマニュアルで職員の支援の動きを明示している。 刻み・とろみ・ペースなど個別に応じた食事対応をしている。
	②食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく、楽しく食べられるように工夫されていますか?	<input checked="" type="checkbox"/> 1.定期的な嗜好調査を行い、その結果を献立に反映している。 <input type="checkbox"/> 2.食事サービスの検討会議等には利用者も参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> 3.適温の食事を提供している。 <input checked="" type="checkbox"/> 4.献立・食材に季節感があり、盛り付けや食器にも工夫している。 <input checked="" type="checkbox"/> 5.食室には複数の調味料・香辛料が用意されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 6.献立及び食材について、その情報は予め利用者へ提供されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 7.食事介助については、利用者の様子を良く見ながら介助や支援を行っている。	毎年嗜好アンケートを行い、メニューに反映させている。 給食委員会を設置し、定期的に会議が開催されている。管理栄養士が毎日利用者の食事の様子を見に行き食事形態が適切に観察している。利用者の意見を反映した食事支援を行っている。 必要があれば、レンジ等を利用できるようになっていて、その日の体調に合わせて急におかゆを提供する等日々利用者へ寄り添った援助が行われている。 季節感のある献立を作成し食べる楽しみが持てている。 調味料は事務所で保管し、必要があれば提供している。また各個人でふりかけ等を準備できるようにしている。職員と買い物に行き選ぶ楽しみもある。 1か月のメニュー表を作成し、情報提供している。
	③喫食環境(食事時間を含む)に配慮していますか?	<input checked="" type="checkbox"/> 1.食室の設備や雰囲気について定期的に検討会議を開き、必要に応じて改善を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 2.食事は、幅のある時間帯の中で喫食することができる。	給食委員会で検討し、必要に応じて改善している。 それぞれの希望に応じて食事できるよう、時間に幅を持たせている。
11項目中 10項目 評価結果 (A)・B・C			
(2)入浴	①入浴は個人の事情に配慮していますか?	<input checked="" type="checkbox"/> 1.安全やプライバシーの保護を含めて、入浴介助や支援・助言方法についてはマニュアルが用意されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 2.一人ひとりの健康状態や留意事項については、個別チェックリスト等を利用している。 <input checked="" type="checkbox"/> 3.入浴の介助や支援・助言業務は、所定の様式により記録されている。	各個人の手順書を作成し、支援している。 健康状態の記録は職員全員が確認できるようになっている。 入浴日誌に記録を残している。
	②入浴は、利用者の希望に沿って行われていますか?	<input checked="" type="checkbox"/> 1.設定された時間のほかに、失禁や汗をかいた場合等必要に応じて入浴が可能である。 <input checked="" type="checkbox"/> 2.入浴の時間帯や週間回数については利用者との話し合いで決めている。	浴室は男女別であり、特殊浴槽も別にある。 毎日入浴できる体制となっており、それぞれの状況に応じて入浴できる。 各ユニットにも個浴があり、必要に応じて入浴できる。
	③浴室・更衣室等の環境は適切ですか?	<input checked="" type="checkbox"/> 1.浴室・更衣室の設備や入浴器具の設置等については、検討会議をもっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 2.更衣室の冷暖房設備は、気候や利用者の身体的状態に応じて調整できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 3.浴室や更衣室は、プライバシーを保護する構造・設備になっている。	検討会議やリーダー会議で設備等について検討している。 更衣室にはエアコンや扇風機を設置して温度調節を行っている。 パーテーション等を使用し、プライバシーに配慮している。
8項目中 8項目 評価結果 (A)・B・C			
(3)排泄	①排泄介助は快適に行われていますか?	<input checked="" type="checkbox"/> 1.排泄介助のマニュアル(安全、プライバシー、便意・尿意・失禁への対応を含む)が用意されている。 <input type="checkbox"/> 2.排泄用具(おむつ、移動式便器、集尿器、探尿器、ストマ用具等)の使用法について、衛生や防災を考慮したマニュアルが用意されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 3.排泄介助に際して、利用者の健康状態や留意事項については、個別チェックリスト等を活用している。 <input checked="" type="checkbox"/> 4.排泄介助の結果は所定の様式により記録されている。	各個人ごとの手順書や主治医の指示書により記録している。 排泄状況は必要に応じて記録システム等に記録されており、特に注意が必要な方は、申し送りが行われている。
	②トイレは清潔で快適ですか?	<input checked="" type="checkbox"/> 1.身体状況に応じた設備や補助具の配備を含めて、トイレ環境の点検・改善のための検討を定期的に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 2.プライバシーに配慮したトイレの構造・設備になっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 3.換気や適切な薬品使用等、防災対策がなされている。 <input checked="" type="checkbox"/> 4.清掃は毎日行われ、汚れた場合は直ちに対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 5.採光・照明等は適切である。 <input checked="" type="checkbox"/> 6.冷暖房設備がある。	安全配慮のため、トイレ入り口のドアは設置されていないが、パーテーション等を活用し、プライバシーは守られている。 陶器の便器は破壊等の危険性がある場合は、ステンレス製に交換し、環境整備を行っている。 清掃は毎日実施され、清潔な環境が保たれている。 防災・採光の対策も取られており、快適な環境となっている。
	10項目中 9項目 評価結果 (A)・B・C		
(4)衣服	①利用者の個性や好みを尊重し、衣服の選択について支援していますか?	<input checked="" type="checkbox"/> 1.衣類は利用者の意思で選択している。 <input checked="" type="checkbox"/> 2.衣類の選択について、必要があれば相談に応じている。	毎日着る服を自分で選ぶ自由はもちろん職員も自然に支援できている。 選択肢が多いことで混乱する利用者には、その時に着る1着のみを準備してあげる等、特性に合わせてきめ細やかに支援できている。 出来る方には職員と一緒に買い物に行き、本人が選択した衣類を購入している。
	②衣類の汚れや破損に気づいた時等の対応は適切ですか?	<input checked="" type="checkbox"/> 1.汚れや破損が生じた場合には、速やかに対処するための業務手順が用意されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 2.利用者が着替えを希望した場合、特殊な場合(強いこだわり等)を除き、その意思を尊重している。 <input checked="" type="checkbox"/> 3.汚れや破損のために着替えをした場合は、それを記録することになっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 4.介助に頼らず、自ら着替えをしたいという希望のある利用者に対しては、意思を尊重して対応している。	基本的には洗濯の基準手順マニュアルに沿って支援されているが、利用者の強いこだわり等があれば常に意思を尊重して対応している。 着替えなど衣類に関することもケース記録に残し、共有している。 日々の細かいことを自己決定してもらうことで、意思伝達に制約のある利用者の要望や意見を理解しようとする努力がなされている。
	7項目中 7項目 評価結果 (A)・B・C		

(5) 理容・美容	<p>① 利用者の個性や好みを尊重し、選択について支援していますか。</p> <p>② 理髪店や美容院の利用については配慮されていますか。</p>	<p>① 1. 髪型や化粧の仕方は利用者の意思で決めている。 2. 職員は、必要があれば、髪型や化粧を手伝ったり、又は相談に応じたりしている。 3. 理容・美容に関する資料や情報を用意している。</p> <p>② 1. 地域の理髪店や美容院の利用について、必要に応じて職員が同行するなどの配慮を行っている。 2. 利用する理髪店や美容院に対しては、必要に応じて、理解と協力を得られるように職員が連絡・調整を行っている。</p> <p>5項目中 4項目 評価結果 (A)・B・C</p>	<p>希望する方は移動理髪サービスを月2回利用し、本人の意思を尊重した理美容支援を行っている。理髪サービス事業者には、障害の特性を理解いただいております、本人の負担にならないよう、利用できている。</p>
(6) 睡眠	<p>① 安眠できるように配慮していますか。</p>	<p>① 1. 寝室やベッド周辺の光や音について、利用者の希望や状況に応じた適切な配慮がなされている。 2. 夜間就寝中の利用者に対するサービスについては、体位交換やおむつ交換、さらには睡眠リズムの乱れや不眠者への対応等を含むマニュアルが用意されている。 3. 夜間に行われた個別支援は、所定の様式で記録されている。 4. 寝具は、利用者の好みに基づいて用意され、又は私物使用も認められている。 5. 不眠等により同室者に影響を及ぼす場合、一時的に他の部屋を使用することができる。</p> <p>5項目中 5項目 評価結果 (A)・B・C</p>	<p>全て個室のため、プライバシーが守られ、また他の利用者への影響を及ぼすことのない睡眠環境が整備されている。本人の意思に沿った環境となるよう居室のベッドや遮光カーテンなどを配置している。夜間対応マニュアルを作成し、夜間対応にあてられている。寝具は利用者の好みに基づいて用意されており、リースのものや個人で持ち込みしているなど様々な意思が反映されている。寝にくい場合で十分な影響で睡眠時間の確保が必要な方は医師の指示のもと服薬を行い安眠できるように配慮している。</p>
(7) 健康管理	<p>① 日常の健康管理は適切ですか。</p> <p>② 必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられますか。</p> <p>③ 内服薬・外用薬等の扱いは確実に行われていますか。</p>	<p>① 1. 利用者の健康管理マニュアルが用意されている。 2. 医師又は看護婦による健康相談を受けることができる。 3. 医師又は看護婦が、利用者(及び必要に応じて家族等)に対して健康面の説明を定期的に行っている。 4. 利用者(及び必要に応じて家族等)の承諾を得て、インフルエンザ等の予防接種を行っている。 5. 健康の維持・増進のため、日常生活の中に取り入れるプログラムが用意されている。 6. 歯科医師又は歯科衛生士により、歯磨き、歯磨き介助、歯肉マッサージ等の方法やその他の口腔衛生について、定期的な指導を受けている。</p> <p>② 1. 健康面に異変があった場合の対応の手順は、マニュアルとして用意されている。 2. 地域内に協力的な医療機関(診療所又は病院、アクセスはおおむね20分以内)を確保している。 3. 確保している医療機関では、入院治療が必要な場合の受け入れがスムーズである。</p> <p>③ 1. 利用者(及び必要に応じて家族等)並びに担当職員は、薬の目的・性質・効果・副作用・注意事項等について、適切な情報を得ている。 2. 一人ひとりの利用者で使用される薬物の管理(保管から服用・使用確認に至るまで)については、マニュアルが用意されている。 3. 薬物の取り違え・服用拒否や服用忘れ・重複服用等、薬物使用に誤りがあった場合の対応については、マニュアルが用意されている。 4. 内服・外用薬の使用状況は、所定の様式に従って記録されている。</p> <p>13項目中 13項目 評価結果 (A)・B・C</p>	<p>ケースファイルと医務ファイルが整備されており、健康状態・医療情報等が看護師との連携のもとに管理されている。発作が起こった際のマニュアルが個別に作成されており、必要時に対応できる体制となっている。協力医の診察が定期的に行われている。通院は予定表を作成し、職員が同行している。健康維持のため、一日の活動中に散歩等の運動を取り入れている。予防接種は家族の同意を得て行っている。口腔衛生については、それぞれの歯科の主治医を受診したり、口腔衛生センターよりブラッシング等の訪問指導を定期的に行っている。</p> <p>緊急時のマニュアルを整備し、さまざまな緊急時に対応できるよう、フロー図で対応を可視化している。</p> <p>服薬は医務室で保管され1週間分ずつ機別のロッカーに看護師がセットして管理されている。服薬時の注意事項をマニュアル化して職員間で共有している。各個人の薬の管理については、毎回のセット段階・各個人別ロッカーへの保管段階・小分けの段階の3段階で誤りがないかをチェックする仕組みとなっている。服薬状況は個人記録に記録・管理されている。内科・精神科の協力医以外の整形外科や歯科に関しては、近隣の個人病院に受診に行きやすい。協力医に紹介状を書いてもいい総合病院を受診する際も職員が付き添い丁寧な支援ができています。</p>
(8) 余暇・レクリエーション	<p>① 各個人の状況や希望に沿って、自由に行えるようになっていますか。</p>	<p>① 1. 話し合いやアンケート等を通じて利用者の意向を把握している。 2. 利用者には、余暇やレクリエーションに関する情報を提供している。 3. 利用者自身が主体的に企画・立案するように、職員は側面的な支援をしている。 4. 必要に応じて、外部から協力者(ボランティア)を受け入れている。 5. 地域の社会資源を積極的に活用している。</p> <p>5項目中 4項目 評価結果 (A)・B・C</p>	<p>行事の情報提供は、それぞれの理解特性に応じて、混乱しないように丁寧に情報提供されている。情報提供が可能なユニットであれば一ヶ月の予定を掲示して、利用者(先)の楽しみを作ってもらい、たくさん情報があることで混乱したり、先の予定を今日のことと勘違いしてしまうユニットには本日の予定だけを提示したり工夫されている。作品作りなどで、外部からの協力者を受け入れている。主体的に取り組める利用者が少ないため職員主導になる場面も出てくるが、同じ空間で楽しめている。</p>
(9) 外出	<p>① 外出は利用者の希望に応じて行われていますか。</p>	<p>① 1. 利用者の代表や自治会等と話し合って、外出についてのルールを設けている。 2. 必要などときには、職員・ガイドヘルパー・地域のボランティア等、いずれかの人からの介助や支援・助言を受けられる体制が整っている。 3. 地域のガイドマップやイベント等の情報を普段から収集するよう努め、利用者に提供している。 4. 外出に伴う安全確保や不測の事態に備えて、利用者に必要な字習を行うとともに、連絡先を明示したカード等を携行させている。</p> <p>4項目中 1項目 評価結果 A・B・C</p>	<p>入所施設の利用者が使える制度が少ない中で移動支援等の制度を使う方は活用しながら外出支援を行っている場合もある。休日にお店に買い物に出かけたり、散歩に行く等は職員同伴で支援している。</p>
(10) 外泊	<p>① 外泊は利用者の希望に応じるよう配慮されていますか。</p>	<p>① 1. 利用者の代表や自治会等と話し合って、利用者主体のルールを設けている。 2. 事業所側の都合で決めるのではなく、利用者ならびに家族の立場に立って、担当職員がその調整を行うようになっている。 3. 盆や正月の外泊は、これを強制したり、利用者や家族の事情を考慮せずに要請するようなことはしていない。</p> <p>3項目中 2項目 評価結果 A・B・C</p>	<p>本人の意思を尊重した支援を行っている。希望があれば数日間の部屋を使用してもらい、家族で過ごしてもらっても出来る。家族の高齢化等で外泊が困難な状況も見られている。</p>
(11) 所持金・預かり金の管理等	<p>① 預かり金について、適切な管理体制が作られていますか。</p> <p>② 金銭等の自己管理ができるように配慮されていますか。</p>	<p>① 1. 利用者の預かり金については、その取り扱い規約を定め、責任の所在を明確にしている。 2. 取り扱い規約とその運用方法は、利用者(及び必要に応じて家族等)に詳しく説明した上で理解を得ようとしている。 3. 担当者複数配置して業務を分担し、相互チェックが図られる体制を取っている。 4. 帳簿類や預金通帳の出納状況を利用者(及び必要に応じて家族等)に対して定期的に報告している。 5. 帳簿類や預金通帳の開示を利用者(及び必要に応じて家族等)から求められた時は、速やかにこれに対応している。</p> <p>② 1. 自己管理ができる人には、金銭等を保管する場所と設備を提供している。 2. 自己管理に支援を必要とする人には、小遣い帳を活用するなどして、自己管理に向けた学習を支援している。 3. 金銭管理技能を含む経済的な対応能力を高めるための学習プログラムが用意されている。</p> <p>8項目中 7項目 評価結果 (A)・B・C</p>	<p>各個人ごとの出納帳を作成し、金銭管理を行っている。預かり金管理規定を定め、金銭取扱者の責任のもとで管理されている。年3回、管理状況を報告し、出納帳および通帳の確認をもらっている。活動費の出し入れの際には、所定の書式に日時と名前の記録もされており、管理が明確かつ徹底している。事務所内に防犯カメラを設置する徹底ぶり、決して不正を許さない強い意志が感じられる。</p>
(12) 生活内容の自由な選択	<p>① 新聞・雑誌の購読やテレビ等の利用は自由に行えますか。</p> <p>② 嗜好品(酒、たばこ等)については、健康上への影響等に留意した上で、基本的に個人の自由が認められていますか。</p>	<p>① 1. 新聞・雑誌は個人で購入できる。 2. テレビやラジオ等は個人で所有できるように便宜を図っている。 3. 新聞・雑誌やテレビ等の共同利用の方法については、利用者間の話し合いで決められている。</p> <p>② 1. 利用者の代表や自治会等と、話し合ってルールを設けている。 2. 具体的な場面では、自治会や利用者全員と協議して、場所・時間・方法(喫煙場所、飲酒場所・時間、一気呑みの禁止等)に様々な配慮を行っている。 3. 酒やたばこの害については、利用者が正しい認識を持っており、利用者全員に情報提供を行った上で、飲酒・喫煙が認められている。</p> <p>6項目中 4項目 評価結果 A・B・C</p>	<p>新聞や雑誌は外出時に購入することができる。利用者個人の個室内でテレビやラジオも楽しむことができる。</p> <p>嗜好品については、健康状態への影響がある場合には考慮すべきではあるが、特に規制はしていない。身体に有害なものについて積極的に情報提供は行っていないが、利用者(先)と話し合っただけで健康に配慮したうえで楽しんでいる。</p>

5 生活環境の整備			
<p>利用者へ快適な生活環境を用意することは、すべてのサービスの前提条件となります。生活環境を考える場合には、利用者の立場からの視点と事業所周辺の地域への影響という二つの視点が重要になります。ここでは、事業所がその生活環境について定期的な点検を行い、可能な限りの工夫や改善をしているか否か、ということの評価するものです。</p>			
中項目	小項目(質問項目)	着 眼 点	コ メ ン ト
(1)生活環境の整備	①事業所の建物ならびに事業所周辺は、定期的な点検・整備されていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 点検・整備のマニュアルが用意されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 点検・整備の担当者ならびに責任者が明らかにされている。 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 点検・整備の結果は、文書処理されて施設の各部署に報告されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 点検・整備の結果に基づき、必要な整備が計画的に行われている。 <input type="checkbox"/> 5. 点検・整備の結果とその対応策は、利用者には知らされていない。	<p>建物設備の点検整備は外部の専門業者に委託し、定期的に実施している。庁舎管理責任者を配置し、必要な整備・点検・修理等については修繕計画を立てて実施している。</p> <p>環境衛生委員会を設置し、マニュアルに基づき点検・整備されている。常勤の用務員が日々事業所周辺の美化に努めている。点検整備の結果や対応策は必要があれば家族には知らせているが、利用者への周知はしていない。</p>
	②一人になれる場所や部屋。又は少人数でくつろげる場所や部屋がありますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 利用者が一人になりたいときや感情の高ぶったとき等に利用できる自由な場所・設備が用意されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 少人数でくつろげる場所(部屋やスペース等)や屋外設備等が用意されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 居室の個室化や二人部屋化を実現している。また、生活ホーム・グループホームにおいては個室化を実現している。 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 訪問者と面会できる部屋が用意されている。	<p>居室は全て個室となっており、一人になれる空間となっている。少人数で自由に過ごせるスペースも確保されており、必要に応じてホール利用や個別の外出対応を行っている。</p>
	③心地よく生活できる環境への取り組みがなされていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 利用者(及び必要に応じて家族等)との話し合いを持ち、その結果を生活環境の改善に反映させている。 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 身の回りの生活環境(事業所内の清掃や装飾、室内のベッドその他の家具や飾り付け、採光や冷暖房等)については利用者・職員ともに日常的な課題として意識しており、いろいろな指摘や提案を行う機会を設けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 利用者の携行品や身近な私物については、利用者の気持ちを理解し、職員も大切にしている。	<p>生活の安全に配慮しつつ、個別の状況に応じた生活環境を整備している。ベッドやカーテンなどそれぞれの身体状況や障害特性に応じた環境となっている。携行品や私物等は自由に居室に配置できるようにしている。生活環境改善委員会により年に5回、改善の検討を行っている。それ以外でも随時個別に相談に応じている。</p>
	④事業所周辺の環境への配慮がなされていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 汚水や生活廃水等の処理については、法令を満たす基準の設備が備えられ、マニュアルに従った手順が守られている。生活ホーム、グループホームにおいては、地域の所定の基準に従って、適切に行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 事業所の排水については、定期的に所定の検査が行われ、その結果は、職員、地域の人達等に報告されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 3. おむつや治療器材・器具等の汚物処理については、所定の手順が確実に守られている。 <input checked="" type="checkbox"/> 4. ゴミ処理については、環境に悪影響を及ぼさないよう、責任者が所定の基準に従って管理している。	<p>法令に則り適正に処理が行われている。施設長が管理者となりごみ処理は毎日等、決められた頻度と回数を遵守し、所定の手順に従い確実に守られている。</p>
16項目中 15項目 評価結果 (A)・B・C			
(2)衛生面の配慮	①事業所及び周辺の衛生は適切に維持されていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 清掃及び衛生管理については、規程や実施マニュアルが用意されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 清掃及び衛生管理については、事業所内に委員が設けられており、基本的な方針や具体的な問題に関して、提言を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 清掃や衛生問題については、担当者や責任者が任命されており、責任者には、必要に応じ迅速な問題解決に当たることのできる権限が与えられている。	<p>感染症対策マニュアルを作成し、感染症対策委員会及び環境衛生委員会が衛生環境整備について検討が行われている。委員会を中心に看護師と連携し衛生管理が行われている。管理者や管理栄養士、各様の責任者が衛生面に配慮し衛生環境が適切に維持されている。</p>
	3項目中 3項目 評価結果 (A)・B・C		

6 地域との連携			
<p>通所・入所を問わず、事業所は地域の中の社会資源として存在します。当然、その利用者は、もともとそれぞれの地域に属する一員ですが、同時にその事業所が属する地域の一人として大切な存在になります。そうした事業所利用者が、その地域の人々と好ましい関係を作ること、自立への大切なプロセスであり、同時に、それは事業所と地域の相互交流の架け橋になることを意味します。</p> <p>事業所は、地域住民から見れば、しばしば貴重な社会資源です。事業所の持っている機能は、単に利用者のもではなく、地域の人々にとっても活用できるものと考えられるからです。一方、事業所の側から見れば、地域との連携を深めることによって、そのサービス機能はさらに充実・向上するものです。</p> <p>ここでは、地域に開かれた事業所であるか否か、そして、その結果、利用者のニーズをより効果的に満たしているか否か、ということの評価します。</p>			
中項目	小項目(質問項目)	着 眼 点	コ メ ン ト
(1)地域との交流	①地域への事業所に対する理解促進と地域への事業所開放を図っていますか。	<input type="checkbox"/> 1. 地域へ事業所を開放するための規定を設け、事業所開放を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 地域の人達に事業所の開放や、備品の貸し出し等を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 地域の人達に障害者や福祉を理解してもらうための講習会・研修会を開催している。 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 介護技術講習等の地域住民の生活に役立つような、講習会等を開催している。 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 地域の人達のボランティアを積極的に歓迎している。 <input checked="" type="checkbox"/> 6. 事業所の様々な行事への参加を地域の人達に呼びかけている。	<p>規定までは設けていないが、施設は常時解放されている。地域住民とは良好な関係が構築されており、連携を深めることでサービス機能の充実向上が常に図られています。要望があれば施設備品等(テント等)の貸し出しも行っている。地域や学校へ人権学習等の講師として職員を派遣している。周辺が近隣住民の散歩コースとなっており、日常的な交流の機会となっている。</p>
	②利用者は地域の行事に参加できますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 地域の情報を収集し、これを利用者提供している。 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 利用者の地域活動への参加を支援するという方針があり、職員や家族に文書により知らされている。 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 必要があれば、地域の行事参加に職員やボランティアの支援を求めることができる。	<p>地域の行事(お祭りや運動会など)は随時情報提供している。行事の準備や片付け作業を手伝うこともある。社会参加の促進を事業計画に明記し、積極的に参加を促している。</p>
	③他事業所を含む地域との交流を進めていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 親善試合や見学・旅行といった、スポーツやレクリエーションを通じて、他の事業所との交流を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 利用者は、地域の人達と企画の段階から、様々な行事・スポーツ・レクリエーション等に参加している。	<p>滋養限知的ハンディをもつ人の福祉協会等関係団体主催のレクリエーションに参加している。</p>
	④地域に事業所の情報を伝えていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 広報紙等の定期刊行物は、担当の職員によって計画的・継続的に発行されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 広報紙は、地域の人達をはじめ、利用者、家族、ボランティア、関係機関等に定期的に配布されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業所紹介のビデオやパンフレットを作成し、これを地域の住民や関係機関に提供している。 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 地域の住民や関係機関を対象として、事業所で行われている作業や訓練等の活動について紹介する機会を持っている。	<p>法人の広報委員会により広報誌を定期発行している。インスタグラムによる発信を担当者を定めて実施している。アルム回収作業を地域に紹介し、回収の協力を得ている。</p>
15項目中 12項目 評価結果 (A)・B・C			
(2)地域生活支援サービスの実施	①事業所ないし法人は何かの地域生活支援サービスを行っていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 地域生活の一形態である福祉ホームやグループホームを設置運営している。 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 地域生活を支援するホームヘルプ・サービス、デイサービス、ショートステイ等の在宅サービスを行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 在宅障害者のための相談事業を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 4. その他、自治体独自又は法人独自の地域生活支援事業を行っている。	<p>法人としてグループホーム・ショートステイ事業、相談支援事業を実施している。地域生活支援事業として日中一時支援事業を実施している。</p>
	4項目中 4項目 評価結果 (A)・B・C		
(3)ボランティアの受け入れと育成	①ボランティアの受け入れや受け入れのマニュアルが用意されている。	<input type="checkbox"/> 1. ボランティア育成を積極的に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 2. ボランティア受け入れは、所定の様式で記録されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 受け入れと育成の担当者(ボランティアコーディネーター等)が決まられており、責任の所在が明確にされている。 <input checked="" type="checkbox"/> 4. ボランティアの受け入れに際しては、あらかじめ利用者や職員に趣旨を説明している。 <input checked="" type="checkbox"/> 5. ボランティアの意見や指摘事項を事業所運営に反映させている。 <input checked="" type="checkbox"/> 6. ボランティア育成のため、ボランティア講座や体験学習等を計画的に実施している。	<p>ボランティアの受入は、所定の様式である受け入れ簿により記録されており、ボランティア保険にも加入している。長年花壇整備や利用者支援など継続的に参加されるボランティアも多く、意見を言いやすい関係性が構築されている。寄せられた意見は事業所の運営に反映されている。</p>
	6項目中 4項目 評価結果 A・B・C		
(4)地域内の諸機関との連携	①地域の諸機関との連携は適切ですか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 関係機関(福祉事務所、児童相談所、保健所、職業安定所、学校等)や地域内の諸事業所とは定期的に情報交換のための連絡会を開催している。 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 連携のための窓口(担当者)が決まられている。 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 関係機関とは日頃から情報交換を行っている。	<p>大津市障害者自立支援協議会に設置されている各部会に職員が担当者としてそれぞれ参加し、他事業所や行政等と連携を図っている。何か少しでも気づきがあるときには施設職員が相談できるようにしている。</p>
	3項目中 3項目 評価結果 (A)・B・C		

7 役員及び職員の研修			
<p>事業所は、社会や個人のニーズに基づき福祉サービスを提供します。そして、利用者に具体的なサービスを提供するのは、一人ひとりの職員です。しかし、職員はそれぞれ単独で存在するわけではなく、事業所という組織を形成する一員として存在しています。そこでは、基本理念に支えられた組織の中の職員が事業所の提供する機能のそれぞれを分担しています。その組織を統括し、代表するのが事業所管理者(施設長)です。</p> <p>事業所の良し悪しは、そこで提供される福祉サービスによって決まりますが、それは、管理者を含む事業所職員一人ひとりの力量に由来します。ここでは、資質向上に関する事業所の努力や実態を評価します。</p>			
中項目	小項目(質問項目)	着 眼 点	コ メ ン ト
(1)事業所内研修	①事業所内研修は計画的に実施されていますか。	1. 役員及び職員が事業所の基本理念や方針を理解し、その目的達成のために研修を計画的・継続的に行うよう、年度毎に研修計画が策定されている。	法人研修委員会により毎年研修計画が策定されている。各事業所にも年間の研修スケジュールが決められている。法令で義務化されている研修も参加の計画が定められている。各研修には、勤務として参加できる体制となっている。各職員が階層別自己チェック/評価シート及びキャリアアップシートを作成し、職域・職能に応じたキャリアパスを作成している。
		2. 研修の具体的な立案・実施のために研修担当者を決めている。	
		3. 新規採用者、中堅職員、管理者、専門職種等、それぞれの立場に応じた研修マニュアルを策定している。	
②サービス内容向上のための研修を積極的に進めていますか。	1. 個別支援会議(ケース会議、ケア会議等)とは別に事例検討会を職員の研修として実施している。	2. 新しいサービス技法や様々な実践の成果について常に情報収集を行い、必要に応じて外部から講師を招いて、有効と思われる知識・技術の導入に努めている。	心理検査をもとにした個別事例に関する支援研修を定期的実施している。心理職・OT・PT・ST等の専門職を講師とした研修を実施し、知識や技術の向上を図っている。制度改正に対応できるよう、都度職員に説明している。
		3. 福祉の動向、障害者観の変遷、社会的支援の新たな制度や事業については、資料を添えて幹部職員ができるだけ詳しく説明している。	
		4. 施設内だけで完結してしまうような閉鎖的支援とならないように、法人内研修だけでなく、他法人の実践を学ぶ機会を積極的に進めている。法人内で実践報告会を開催し、実践研究に取り組んでいる。	
③先駆的な取り組みに学んで事業所運営をしていますか。	1. 職員研修に、他事業所の見学や実習を積極的に取り入れている。	2. 福祉学会等の実践報告会に積極的に報告者として参加している。	施設内だけで完結してしまうような閉鎖的支援とならないように、法人内研修だけでなく、他法人の実践を学ぶ機会を積極的に進めている。法人内で実践報告会を開催し、実践研究に取り組んでいる。
		3. 他事業所又は研究機関・研究者と共同で共同研究等を行っている。	
		9項目中 8項目 評価結果 (A)・B・C	
(2)事業所外研修	①外部機関の行う研修に参加させていますか。	1. 学会・各種研修・研究会等に職員を参加させている。	OJTだけでなく、OFF-JTへの参加を積極的に進めている。資格取得のための助成制度を設けている。研修参加者には復命を義務付けている。
		2. 専門資格取得のために勤務時間の面等で配慮している。	
		3. 研修参加者は事業所内の報告会にて伝達講習を行うことを原則としている。	
3項目中 3項目 評価結果 (A)・B・C			
8 緊急時の対応			
<p>事業所には利用者の生命・財産を守るという使命があります。日常的なサービス提供の中でも、あるいは非常事態においても、その使命は変わりません。従って、不断の事業所設備の充実が必要不可欠であります。そして、日常の事業所運営においては、非常事態における生命・財産の保護に備えた体制整備が求められます。ここではそうした視点からの事業所機能を評価します。</p>			
中項目	小項目(質問項目)	着 眼 点	コ メ ン ト
(1)火災や震災や震災等への対応	①事業所として火災や震災への対応は適切ですか。	1. 最低基準ならびに消防法に示される防災対策は確実に実行している。	防災計画を策定し消防法に示される防災対策を確実に実行している。防災訓練は年2回、昼間・夜間を想定して行っている。事業所周辺のハザードマップにより危険箇所の確認を行い安全性について点検と対応を行っている。備蓄品は3日分を確保し定期的に賞味期限等点検している。
		2. 上記法令に止まらず、事業所独自の内容を盛り込んだ防災規定と利用者への対応マニュアルを策定している。	
		3. 防災規程とマニュアルに基づいて、定期的に避難等の訓練が行われている。	
②訓練結果に基づいて、防災対策の点検と見直しを定期的に行われている。	4. 利用者の外出・外泊・帰宅時に発生した災害にも備えて、連絡方法や支援体制を策定している。	5. 事業所周辺の危険度(崖崩れ等)調査や施設建物の耐震診断等、事業所の安全性について点検と対応を行っている。	緊急時対応マニュアルが整備されている。個別の緊急時対応マニュアル(てんかん時対応等)も整備されている。ケースファイルと別に医療ファイルが整備されており、急病時にはかかりつけ医等と連携して対応できる。訓練の実施の他に、動画視聴による研修体制を取っており、必要に応じて各職員が学べる機会を確保している。緊急時に慌てないように、救急車の呼び方や利用者の様子を的確に伝える訓練も定期的に行われている。
		6. 利用者一人ひとりに健康管理票(ないしカード)が作成されており、緊急受診の際に利用者の状況を的確に伝えることができる。	
		7. 職員には、必要な救急法の研修を行っている。	
8項目中 7項目 評価結果 (A)・B・C			
(2)事故や急病への対応	①利用者の事故や急病への対応は十分ですか。	1. 起こり得る様々な事態(例えば、てんかん発作や怪我等)を想定して、対応マニュアルが作られている。	緊急時対応マニュアルが整備されている。個別の緊急時対応マニュアル(てんかん時対応等)も整備されている。ケースファイルと別に医療ファイルが整備されており、急病時にはかかりつけ医等と連携して対応できる。訓練の実施の他に、動画視聴による研修体制を取っており、必要に応じて各職員が学べる機会を確保している。緊急時に慌てないように、救急車の呼び方や利用者の様子を的確に伝える訓練も定期的に行われている。
		2. 家族等への連絡についても、その手順がマニュアルとして用意されている。	
		3. 事故や急病を想定した訓練が定期的に行われている。	
④緊急時には、休日・夜間でも医療が確保されるように、特定の医療機関と提携している。(ここでは、単身で通所している利用者から、緊急の相談が事業所や職員になる場合等も想定している)	5. 利用者一人ひとりに健康管理票(ないしカード)が作成されており、緊急受診の際に利用者の状況を的確に伝えることができる。	6. 利用者一人ひとりに健康管理票(ないしカード)が作成されており、緊急受診の際に利用者の状況を的確に伝えることができる。	緊急時対応マニュアルが整備されている。個別の緊急時対応マニュアル(てんかん時対応等)も整備されている。ケースファイルと別に医療ファイルが整備されており、急病時にはかかりつけ医等と連携して対応できる。訓練の実施の他に、動画視聴による研修体制を取っており、必要に応じて各職員が学べる機会を確保している。緊急時に慌てないように、救急車の呼び方や利用者の様子を的確に伝える訓練も定期的に行われている。
		7. 職員には、必要な救急法の研修を行っている。	
		7項目中 7項目 評価結果 (A)・B・C	
(3)緊急時の協力体制	①関係機関との連携が図られていますか。	1. 警察署、消防署、その他行政機関等と情報交換、連絡・協力体制を作っている。	防災訓練には消防署の参加と講評をいただいている。地域の集まりには積極的に参加し、日常的なつながりづくりとともに緊急時の協力体制づくりに努めている。
		2. 地域の自治会や団体等と情報交換、連絡・協力体制を作っている。	
		3. 地域の団体や機関と共同で防災訓練を行っている。	
4. 大規模災害の場合には、事業所が、地域の罹災者を受け入れる			
5. 臨時避難施設になることを想定し、対応マニュアルが用意されている。			
4項目中 2項目 評価結果 A・B・C			

9 組織・運営・管理			
事業所は事業所の理念を持ち、それを利用者や家族、職員はもちろんのこと、地域にも明示しなければなりません。その理念の具現に向けて事業をするとき、民主的な組織や運営および管理であることが重要です。 ここでは、事業所の理念と民主的な組織・運営・管理という視点から評価します。			
中項目	小項目(質問項目)	着 眼 点	コ メ ン ト
(1)組織・運営	①理事会(運営協議会)及び評議員会は実質の機能を果たしていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 理事会(運営協議会)及び評議員会は定期的に開催されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 理事(運営委員)は事業体の経営に実質責任を果たしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 理事会(運営協議会)は高い経営能力、事業企画力を持っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 理事会(運営協議会)と評議員会は、その役割と機能が明確に確認されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 理事会(運営協議会)もしくは評議員会に家族代表が入っている。 <input type="checkbox"/> 6. 理事会(運営協議会)もしくは評議員会に職員代表が入っている。 <input type="checkbox"/> 7. 理事会(運営協議会)もしくは評議員会に利用者代表が入っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 8. 権限が特定の個人に集中していない。	理事会評議員会は定期的に開催され、事業経営・事業企画に関する協議がなされ、事業経営・事業企画の責任が明確にされている。
	②諸規程や日誌等を整備していますか。(共同作業所)	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 運営規則を整備している。 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 運営規程を整備している。 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 就業規則を整備している。 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 利用者名簿を整備している。 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 金銭出納簿を整備している。 <input checked="" type="checkbox"/> 6. 設備備品台帳を整備している。 <input checked="" type="checkbox"/> 7. 作業日誌を整備している。 <input checked="" type="checkbox"/> 8. 証拠書類類を整備している。	各規程・規則は法令に則り整備されている。利用者支援にかかる日誌や名簿、各種台帳も整備されており、書類の保管や内容確認・決済の体制も整備されている。
	③将来構想はありますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 事業体の将来構想を策定している。 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 将来構想は、短期・中期・長期のそれぞれの構想がある。 <input type="checkbox"/> 3. 将来構想にそって年度事業計画をたてている。 <input type="checkbox"/> 4. 将来構想にそって年度事業計画を実行している。	中期計画を策定中であり、2027年度より3年間の構想として実施していく予定である。
	④職員会議が開かれていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 職員会議は定期的に開かれています。 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 職員会議で職員は議題に関して対等に自由に活発に議論をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 職員会議で決められたことは、全員一致してとりくんでいる。	定期的に開催されており、会議録は全ての職員が確認し、その内容を実践につなげている。議事録はパソコンで管理され、職場内であればいつでも閲覧し再確認できる。
	⑤利用者の会(自治会)がありますか。	<input type="checkbox"/> 1. 利用者の会(自治会)がある。 <input type="checkbox"/> 2. 利用者の会(自治会)の活動は活発である。 <input type="checkbox"/> 3. 利用者の会(自治会)でメンバーは対等な立場で自由に意見を述べる事ができている。	設立より自治会は組織していない。
	⑥家族会がありますか。	<input type="checkbox"/> 1. 家族会がある。 <input type="checkbox"/> 2. 家族会の活動は活発である。 <input type="checkbox"/> 3. 家族会で家族は対等な立場で自由に意見を述べる事ができている。	家族様の高齢化の理由により、残念ながら2025年度をもって解散することを家族会で協議の上で決定した。それぞれのご家族とは、個別に連絡を取っており、対等な立場で自由に意見を表明する機会は確保されている。
	⑦後援会がありますか。	<input type="checkbox"/> 1. 後援会がある。 <input type="checkbox"/> 2. 後援会の活動は活発である。 <input type="checkbox"/> 3. 後援会で会員は対等な立場で自由に意見を述べる事ができている。	法人のサービス利用されているご家族等を中心に後援会が組織されており、パザーやまつりでの出店等の企画・実施をされている。
		32項目中 22項目 評価結果 A・B・C	
(2)情報公開・啓発	①事業体の情報を公開していますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 事業体の情報は公開している。 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 情報は広く地域に公開されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 地域への情報の公開にあたり、透明性を高める努力をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 財務情報が公開されている。 <input type="checkbox"/> 5. 事業体の将来構想を地域に公表している。 <input checked="" type="checkbox"/> 6. 事業体の将来構想が地域のニーズに合ったものとして受け止められている。 <input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の人々との交流の機会を積極的にもっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 8. 障害のある人の状況を絶えず地域に知らせ、障害者福祉の充実に向けて地域とともに歩む姿勢をとっている。	事業体の情報はホームページや広報誌により広く公開している。誰でもいつでも閲覧できる状態になっており、事業所の理念や理念の具現に向けた事業計画、民主的な組織や運営であることが確認できます。地域への情報公開にあたっては、透明性を高める努力をしており、障害者福祉の充実に向けて地域とともに歩む姿勢が確認できます。将来構想については2027年度策定予定であり、策定後は地域に向けて今まで通り広く公開していく予定である。
			8項目中 7項目 評価結果 (A)・B・C
(3)人事管理	①人事管理の体制が整備されていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 職員の採用・異動等、人事に関する方針が定められている。 <input type="checkbox"/> 2. 定期的な人事考課を実施している。 <input type="checkbox"/> 3. 人事考課において、客観性・公平性・透明性を確保するための工夫をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 職員に対する福利厚生事業を行っている。	職能要件や個人目標シート、姿勢評価表が確立しておりそれを基に職員面談を実施している。人事方針も定められている。人事考課システムについては、現在整理途中である。職員共済会・互助会があり、福利厚生事業を行っている。
			4項目中 2項目 評価結果 A・B・C
(4)財務管理	①予算管理が適切に行われていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 事業計画を実施するために必要な予算編成がなされている。 <input type="checkbox"/> 2. 予算編成にあたり職員の意見を聞いている。	事業計画は年度ごとに今年度の重点課題や年間予定等について網羅されており、事業計画に沿った予算編成がなされている。
			2項目中 1項目 評価結果 A・B・C

障害福祉サービス共通評価基準② [障害児(者) / 在宅]

1 人権への配慮			
中項目	小項目(質問項目)	着 眼 点	コ メ ン ト
(1)サービス提供の基本方針	①サービス提供に関する基本方針・職員等への周知	<input checked="" type="checkbox"/> 1.基本方針(理念)を事業所として責任をもって作成、明文化している。	契約書に、理念と理念に基づく基本方針が明記され、利用者主体の視点も明確に示されている。 地域の在宅支援向上に寄与するため、居室の配置を考慮必要時なるべく利用可能となるように調整している。 在宅支援公共に寄与する体制が充実している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.基本方針が利用者に周知されている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.基本方針が職員の意向が反映されている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 4.利用者主体の視点を明確にしている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 5.地域の在宅支援向上に寄与することを明確にしている。	
5項目中 5項目		評価結果 (A)・B・C	
(2)サービス提供体制	①利用者主体のサービス確保に向けた取り組み	<input checked="" type="checkbox"/> 1.サービスの質に関する話し合いを事業所内で定期的、継続的に行っている。	毎月の会議で関係職員全員が活発な話し合いをしている。・大津市自立支援協議会のショートステイ部会では他法人のショートステイ事業所とも連携をとるように心がけている
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.サービスの課題を明確にし、改善に努めている。	
		<input type="checkbox"/> 3.利用者を交えての意見交換の場が、随時、持たれている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 4.質の高いサービスを確保するため、定期的、継続的に職員のスキル評価を実施している。	
	②内部コミュニケーションを図る機会の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 1.全職員で業務改善や利用者サービスの点検について意見交換する場が、随時もたれている。	年3回職員の面談を実施し、年数によって段階的にスキルアップできるようにしている 棟会議とリーダー会議を毎月実施し、意見を出し合うことでサービス課題を明確にし、改善に努めている。 月1回ショート会議は全員出席している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.職員会議では議題に対して対等、自由活発に議論をしている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.職員会議で決められたことは、全員一致して取り組んでいる。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 4.職員の不安や悩みを解消するミーティングや不安等を受け止める体制がある。	
	③職員研修の機会(職員の育成)	<input checked="" type="checkbox"/> 1.全職員に研修が案内され、参加機会の均等化に配慮されている。	年3回の面談などを活用し職員のフォローアップに努めているが、普段から話しやすい職場環境が整っている。 入所と同様全職員に研修案内がされており、スキルアップの機会が設けられている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.外部研修への参加希望には、できるだけ添うように努めている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.一年目の職員に対する、研修マニュアルが準備されている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 4.自主研修の機会づくりを支援している。(職員側からの研修計画への支援)	
		<input checked="" type="checkbox"/> 5.研修結果を全職員に還元する機会を作っている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 6.研修には、専門図書やビデオなども活用している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 7.研修には、OJT手法を活用している。	
15項目中 14項目		評価結果 (A)・B・C	
(3)人権擁護・苦情への対応	①利用者サービス提供者の対等な関係性への配慮	<input checked="" type="checkbox"/> 1.年齢相応の応対、言葉かけ、呼称を使っている。	希望があれば、ご家族と同じ呼び方を使うこともあるが、苗字にさんづけで呼ぶことが基本である。その方にふさわしい呼び方を実施している。指導的な立場ではなく、支援の視点で丁寧に関わっている。 虐待研修は毎年行われ、懲罰規定に応じた防止策が取られている。 個人情報守秘義務に関しても徹底した対策が取られている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.指導的立場ではなく、支援の視点で関わっている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.利用者への暴力や虐待行為に対して、懲罰規定や研修会等の防止策がとられている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 4.個人情報に関する取り扱いやケース記録の保管に関する規定がある。	
	②個人情報の保護や情報開示への同意	<input checked="" type="checkbox"/> 1.関係機関への個人情報の提示については、利用者に同意を得ている。	記録と連絡帳の両方記入しており、情報開示には同意書をもっている。 就業規定にも個人情報守秘義務に関して明記している。 徹底した対策が取られていることは重要事項説明書にて利用者や家族に説明されてい
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.個人情報の守秘義務を職員に徹底させている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.個人情報やプライバシーの保護を徹底していることを、利用者に対して説明している	
		<input checked="" type="checkbox"/> 4.個人情報やプライバシーの保護を徹底していることを、利用者に対して説明している	

	③苦情相談窓口等の体制の明文化と周知	<input checked="" type="checkbox"/> 1.苦情解決体制が明文化され、利用者や関係機関に周知されている。	相談・苦情の受付について、重要事項説明書に連絡先電話番号、管理責任者も明記されている。 事業所以外の苦情窓口も明記されており、苦情解決体制が構築されている。 苦情相談の解決が困難な場合には、法人への報告・相談に加えて必要であれば外部の権利擁護機関と連携できるようにしている。 あんしんなっとく委員会の連絡先も明記されている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.苦情相談の受け付け担当者や責任者を明確にしている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.苦情解決へ向けた第三者委員会が設置されている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 4.苦情相談の解決が事業者のみで困難なときは、外部の権利擁護機関などと連携している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 5.利用者に外部の権利擁護機関の存在や役割を情報提供している。	
12項目中 12項目 評価結果 (A)・B・C			
(4)利用者の自己実現への配慮	①利用者の意志の尊重と支援	<input checked="" type="checkbox"/> 1.職員や関係者の価値観で決めるのではなく、利用者の意志を尊重するように努めている。	事業所の理念・基本方針に基づいた支援ができています。 カードを使用する等、家と同じコミュニケーション方法で家からの情報を基に支援している。 集団の中に入ること新しい体験が実現できている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.利用者に合わせたコミュニケーション方法をとっている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.重度の人の場合、家族からの聞き取りをするが、本人の意志を尊重する努力をしている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 4.新しい体験にチャレンジできる機会づくりに努めている。	
		<input type="checkbox"/> 5.地域の行事への参加や、ボランティアとの関わりをもてる機会を作れるよう支援している。(非該当)	
5→4項目中 4項目 評価結果 (A)・B・C			
(5)エンパワメントと自立支援	①情報の提供	<input type="checkbox"/> 1.自立生活(成人期以降の家族からの独立や社会参加促進等)を実現するための、情報をわかりやすく伝えるように努めている。(非該当)	重度の方が多いので自立という概念が難しいが、ショートステイを利用することで、家族とは別の支援者や集団の中で生活する経験を積んでもらって本人や家族の意見も聞きながらグループホームへの移行を援助したこともあり、自分で決めて選べるように配慮している。
		<input type="checkbox"/> 2.自立生活を促進させるため、地域に対して情報の提供や障害者理解への啓蒙活動に努めている。(非該当)	
	②自己選択と自己決定	<input checked="" type="checkbox"/> 1.自立生活をイメージできる体験の機会をつくるなど、自立に向けての支援に努めている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.できる限り自分が住み慣れた地域での、生活を継続できるよう支援に努めている。	
		<input type="checkbox"/> 3.自分の暮らしを自己決定できるよう、制度サービスを説明している。(非該当)	
<input checked="" type="checkbox"/> 4.様々な機会において、自分で選択し、決定できるよう配慮している。			
6→3項目中 3項目 評価結果 (A)・B・C			
(6)地域との接点	①地域に対するサービスの情報公開と周知	<input checked="" type="checkbox"/> 1.地域に対してサービス内容の情報を開示している。(パンフレット、掲示板等の活用)	ホームページやインスタグラムを活用し、施設のサービス内容の情報を開示している。 地域に向けての講座や研修は希望があれば必要に応じて実施している。
		<input type="checkbox"/> 2.機関誌を発行するなど地域への情報提供、PR等を実施している(年3回以上)	
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.地域に向けての講座や研修等を企画、実践している。	
	②サービス調整会議への参画、関係機関との連絡、調整	<input checked="" type="checkbox"/> 1.地域のサービス調整会議に参加している。	併設の入所施設と一緒に、地域の機関としての役割を意識し、サービス提供している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.地域の機関としての役割を意識して、サービス提供をしている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.日常的に関係機関との連携に努めている。	
	③実習生、ボランティアの受け入れ	<input checked="" type="checkbox"/> 1.実習生を受け入れている。	実習生やボランティアも申し込みがあれば受け入れ、入所施設と同様に取り組んでいる。
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.ボランティアを受け入れている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.受入の方針、マニュアル、担当者を明確にしている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 4.受入の際、利用者のプライバシーの保護の確保に努めている。	
10項目中 9項目 評価結果 (A)・B・C			
(7)信頼と安全性の確保	①事故や災害発生時への対応や予防、防災への取り組み	<input checked="" type="checkbox"/> 1.事故、災害に対しての対応マニュアルが作成されている。	事故や災害発生時の対応マニュアルがあり、事故発生時には状況を詳しく記録システムに記載し、全職員が周知できる体制が構築されている。 契約書に利用者や家族または代理人を記入いただくようになっており、重要事項説明書に関係機関等の連絡先を
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.利用者、事業所、関係機関等と緊急の連絡が取れるよう努めている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.事故発生時には、事故の状況が全職員に周知されている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 4.事故を未然に防ぐ方法やまた事故発生後の申告書等が整備されている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 5.必要に応じ消防署や警察署との連携を取っている。	

②衛生管理、感染予防への対応	<input checked="" type="checkbox"/> 1.衛生管理、感染予防の情報を取り入れるよう努めている。	衛生管理、感染予防マニュアルに沿って支援しており、最新情報を取り入れるように努
	<input checked="" type="checkbox"/> 2.利用者、職員の衛生管理、感染予防に努めている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 3.必要に応じ医療、保健機関との連携をとっている。	
8項目中 8項目 評価結果 (A)・B・C		

2 相談支援事業 〈生活支援センター等相談支援事業所項目〉（非該当）

在宅で暮らす障害児(者)にとって安心感のある生活とは、個別のサービスが整備されていなければならないのではなく、時間の切れ目がない毎日の生活への継続的な支援や、進路の選択、社会参加、住宅の確保等などライフサイクルに応じた支援が必要とされています。このような支援は、個人や一事業所、一機関だけでできるものではなく、地域の関係者がトータルに支え合う地域ケアシステムが必要です。このため、地域でサービスを必要とする方のニーズを受け止め、適切なサービス利用へとつなげていく相談支援事業については、相談からサービスの調整、モニタリングまでのケアマネジメント活用や、サービス調整会議への参加など「地域で支える」という視点から評価します。

中項目	小項目(質問項目)	着 眼 点	コ メ ン ト
(1)ケアマネジメントの機能	①相談窓口の機能と連携	<input type="checkbox"/> 1.どのような生活課題の相談でも受け止め、他機関と連携している。	
		<input type="checkbox"/> 2.どこに相談が持ち込まれても対応できるよう他機関との連携がある。	
		<input type="checkbox"/> 3.いつでも相談が受け止められる体制である。	
	②利用者の状況やニーズを把握するための活動	<input type="checkbox"/> 1.ニーズ把握のため、関係者と家庭訪問をしている。	
		<input type="checkbox"/> 2.家庭訪問の時間帯、場所は利用者の利便性を考慮している。	
		<input type="checkbox"/> 3.情報把握のため、地域関係者と情報交換をしている。	
	③制度、サービスの情報収集・提供、周知	<input type="checkbox"/> 1.利用者に制度、サービスをわかりやすく情報提供している。	
		<input type="checkbox"/> 2.地域の制度、サービスの実情について情報収集に努めている。	
		<input type="checkbox"/> 3.利用者が制度、サービスを学習する機会をつくっている。	
	④個別ケア会議の開催・ケアプランの作成	<input type="checkbox"/> 1.会議は、利用者が参加しやすいように配慮されている。	
		<input type="checkbox"/> 2.随時、会議が開催されている。	
		<input type="checkbox"/> 3.利用者ニーズに応じて、誰もが参加できる体制になっている。(医療、保健福祉、教育、労働等)	
		<input type="checkbox"/> 4.利用者ニーズに基づき、個別支援計画を作成している。	
		<input type="checkbox"/> 5.作成した個別支援計画に利用者の同意をとっている。	
		<input type="checkbox"/> 6.支援計画後も、利用者の生活状況の把握に努めている。	
		<input type="checkbox"/> 7.必要に応じて、個別支援計画の見直しを行っている。	
		<input type="checkbox"/> 8.個別支援計画に沿ってサービスの提供が実施されているか、その把握と評価に努めている。	
	⑤サービス調整会議(全体会議)への参加	<input type="checkbox"/> 1.地域の情報や課題を共有するため、会議に参加している。	
		<input type="checkbox"/> 2.地域の課題を検討する会議等に関わりを持っている。	
		<input type="checkbox"/> 3.新たな制度やサービスを開発するための検討会議に関わりをもっている。	
	⑥サービス評価体制の整備	<input type="checkbox"/> 1.サービス調整会議にサービス評価のための体制を整備している。	
		<input type="checkbox"/> 2.サービスへの評価を知るための手段を工夫している。(利用者集会、ユーザーアンケート等)	
		<input type="checkbox"/> 3.サービス評価の結果を利用者に対して公開している。	

23項目中 項目 評価結果 A・B・C

(2)ライフサイクルに応じた支援	自立生活支援の促進	<input type="checkbox"/> 1.自立生活の支援を促進するため、医療、保健、教育、福祉、労働等関係機関との情報の交換、課題の共有、連携ができています。	
		<input type="checkbox"/> 2.自立生活支援への個別支援計画が利用者に提示されている。	
		<input type="checkbox"/> 3.ライフサイクルごとに派生するニーズへの対応、制度の隙間を埋める支援や、その体制整備に努めている。	
		<input type="checkbox"/> 4.アパート、グループホーム等、自立生活の場の確保に努めている。	

4項目中 項目 評価結果 A・B・C

3 ホームヘルプサービス事業（居宅介護、行動援護、重度訪問介護）（非該当）

在宅サービスを提供する事業所は、利用者ニーズに基づいて作成された個別支援計画の一部分を担い支援しているということ、すなわち地域ケアシステムの一部として機能しているという認識が必要です。障害者(児)の需要が多いホームヘルプサービスについては、利用者の生活状態やニーズに柔軟に対応できるよう、利用方法の明確性や簡便性、サービス内容の説明、利用者の状況把握対応など、利用者の求めている生活への的確な支援という視点からの評価とともに、利用者情報の共有化によるサービスの均質化とサービス提供に伴うプライバシーの保護も評価します。

中項目	小項目(質問項目)	着 眼 点	コ メ ン ト
(1)ホームヘルプサービスの提供	①サービスの利用	<input type="checkbox"/> 1.利用者に負担にならないよう、サービスの申し込みに配慮している。	
		<input type="checkbox"/> 2.サービスが利用できない時は、理由を明確にし、フォローアップにも努めている。	
		<input type="checkbox"/> 3.サービスの調整や苦情を受け止める担当者が決められ、利用者に周知されている。	
		<input type="checkbox"/> 4.事前に訪問するなどサービスの内容説明に努めている。	
		<input type="checkbox"/> 5.日常の活動、利用者の状況について連絡を密にとっている。(連絡帳電話、ファクス、インターネット等の活用)	
	②食事援助	<input type="checkbox"/> 1.利用者ニーズに基づいて、食事が提供されている。	
		<input type="checkbox"/> 2.利用者の障害状態に応じた食事援助がなされている。(調理法、食器、介助方法、自助具等)	
		<input type="checkbox"/> 3.適時、適温の提供や食事の雰囲気作りに努めている。	
	③入浴援助	<input type="checkbox"/> 1.利用者の障害状態に応じた入浴援助がなされている。(時間、介助者、介護機器等)	
		<input type="checkbox"/> 2.希望があればいつでも入浴できるよう努めている。	
		<input type="checkbox"/> 3.同性介助に努めている。	
	④排泄援助	<input type="checkbox"/> 1.利用者の障害状態に応じた排泄援助が、随時なされている。(便器、介助等)	
		<input type="checkbox"/> 2.プライバシーが保護されている。	
		<input type="checkbox"/> 3.同性介助に努めている。	
	⑤社会参加活動援助	<input type="checkbox"/> 1.社会参加を促進するための情報の収集や、利用者への情報提供に努めている。	
		<input type="checkbox"/> 2.利用者の障害状態や目的に応じた移動手段等による外出援助がなされている。	
		<input type="checkbox"/> 3.利用者の意向を尊重し、事前に目的、方法について確認をしている。	
	⑥サービスの標準化	<input type="checkbox"/> 1.どの職員においても、同じ質のサービスが提供できるよう工夫している。(工夫とは記録、情報交換等を含む会議の実施等)	
		<input type="checkbox"/> 2.随時、サービス提供の見直しに努めている。	
		<input type="checkbox"/> 3.サービス提供マニュアルに対して、利用者の同意を取っている。	
	⑦サービス内容の周知・要望、苦情を聞く機会づくり	<input type="checkbox"/> 1.パンフレット、機関誌などでサービス内容を周知している。	
		<input type="checkbox"/> 2.サービス提供後の評価が諮れるよう努めている。	
		<input type="checkbox"/> 3.利用者の要望、苦情を聞くようにしている。(ユーザーアンケート等)	
		<input type="checkbox"/> 4.市町村と、サービス内容に関して協議、懇談する場等を設定している。	
	⑧利用者情報の共有化とプライバシーの保護	<input type="checkbox"/> 1.全職員が利用者の情報を共有できるように手段を講じている。	
		<input type="checkbox"/> 2.日常的にサービス内容や利用者情報について意見交換している。	
		<input type="checkbox"/> 3.サービス提供中の記録に努めている。	
		<input type="checkbox"/> 4.サービスで知り得たプライバシーの保護を徹底している。	
28項目中 項目 評価結果 A・B・C			
(2)ケアマネジメント体制	①利用者ニーズに対するケアマネジメント体制(個別支援計画作成)の確立	<input type="checkbox"/> 1.利用者ニーズに対して、個別支援計画を作成するチーム体制が整備されている。	
		<input type="checkbox"/> 2.利用者個々の個別支援計画が、全職員に周知されている。	
		<input type="checkbox"/> 3.ケアマネジメントのチーム体制の見直しができている。	
3項目中 項目 評価結果 A・B・C			
(3)ケアマネジメント手法の活用	①利用者ニーズの把握、個別支援計画作成、サービス提供、モニタリング	<input type="checkbox"/> 1.日常的に利用者ニーズの把握、情報収集に努めている。	
		<input type="checkbox"/> 2.アセスメントに基づき個別支援計画を作成している。	
		<input type="checkbox"/> 3.個別支援計画に利用者の同意を得て、サービスを提供している。	
		<input type="checkbox"/> 4.支援計画作成後も、利用者の生活状況の把握に努めている。	
		<input type="checkbox"/> 5.必要に応じて、個別支援計画の見直しを行っている。	
5項目中 項目 評価結果 A・B・C			

(4)健康管理 などへの支 援	①健康管理と健康 に対する職員研修	<input type="checkbox"/> 1.利用者の体調の変化に気をつけながらサービス提供を行っている。	
		<input type="checkbox"/> 2.利用者の健康状況、体調変化への対応を職員が周知している。	
		<input type="checkbox"/> 3.緊急対応の記録の作成に努めている。	
		<input type="checkbox"/> 4.体調不良等に対応できる看護職が配置されている。	
		<input type="checkbox"/> 5.障害特性や健康に対する学習会を実施している。	
5項目中		項目	評価結果 A・B・C
(5)利用者評 価の受け止 め	①サービス提供時 の利用者の評価と サービス評価体制 の整備	<input type="checkbox"/> 1.サービスに対する評価の場として、利用者会を実施している。	
		<input type="checkbox"/> 2.サービスに対する評価の場として、アンケートを実施している。	
		<input type="checkbox"/> 3.事業所内にサービス改善のための体制を整備している。	
		<input type="checkbox"/> 4.外部の機関と連携し、サービス評価に努めている。	
		4項目中	

4 ショートステイ事業

在宅で暮らす障害者(児)にとって、日常生活の中でアクシデントが起きた時の支援として、ショートステイは有効なサービスです。それだけに、在宅生活の現状や課題を知り、緊急時の対応なども含めた生活支援の視点から利用しやすいサービスに心がける必要があります。このため、サービスの利用申込から提供までの過程における利用者への配慮や、ニーズに応じた体制の整備、さらにサービス提供の前提としての地域の障害者の情報の把握などを評価します。

中項目	小項目(質問項目)	着 眼 点		
(1)ショートス テイサービス の提供	①サービスの利用	<input checked="" type="checkbox"/> 1.利用者の負担にならないよう、サービスの申し込みに配慮している。	申込順ではなく、緊急性に応じて保護者の方が病気や行事参加等で介護が難しいとき、またはリフレッシュのために、利用者本人のステップアップのために状況に合わせて安心して利用できるように	
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.受入できない時期や理由を関係機関や利用者にも明らかにしている。		
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.利用時にサービス内容の説明に努めている。		利用時のサービス内容の説明はショートステイの窓口担当者から契約書や重要事項説明書を用いて丁寧に説明さ
		<input checked="" type="checkbox"/> 4.ショートステイの窓口担当が決められている。		
		②食事援助		<input checked="" type="checkbox"/> 1.利用者ニーズに基づいて、食事が提供されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 2.利用者の障害状態に応じた食事援助がなされている。(調理法、食器、介助方法、自助具等)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 3.適時、適温の提供や食事の雰囲気作りに努めている。			
	③入浴援助	<input checked="" type="checkbox"/> 1.利用者の障害状態に応じた入浴援助がなされている。(時間、介助者、介護機器等)	機械入浴が必要な場合は入所施設に移動して使用する等、障害の状態に応じて介助幅のある時間帯で入浴可能であり、入所から職員が介助に入る等、同性介助に努めている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.希望があればいつでも入浴できるよう努めている。		
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.同性介助に努めている。		
	④排泄援助	<input checked="" type="checkbox"/> 1.利用者の障害状態に応じた排泄援助が、随時なされている。(便器、介助等)	プライバシーが保護され、障害状態に応じた排泄介助が出来る。同性介助に努めて	
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.プライバシーが保護されている。		
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.同性介助に努めている。		
	⑤建物、設備の環 境	<input checked="" type="checkbox"/> 1.利用者の障害状態に応じた環境づくりに配慮している。	利用者の障害状態に応じて、ベッド対応及び床に布団を敷く対応、カーテンが苦手な方ははずして違う方法で外から見えないようにする等、細やかに個々の特性に応じて配慮され落ち着いて過ごせる環境になっている。廊下等に物が置いてあることもなく、スムーズに移動ができる整理整頓された住環境である。居室や廊	
				<input checked="" type="checkbox"/> 2.スムーズに移動できるよう、日頃から整理整頓に努めている。
				<input checked="" type="checkbox"/> 3.緊急時の連絡網が、整備された住環境づくりに努めている。
				<input checked="" type="checkbox"/> 4.トイレの美化など住環境の整備に努めている。

	⑥利用者に合わせて体制作り	<input checked="" type="checkbox"/> 1.施設の付帯事業としてでなく、在宅支援の重要なサービスとして取り組んでいる。	利用者の方、保護者の方が状況に合わせて安心して利用いただける居場所となっていて基本的に成人した方が中心ではあるが、緊急度合いに合わせて中学生以上の利用者も相談にのっている。 本人の普段の日常生活に配慮し、落ち着いたペースで過ごしていただけるように工夫され 連絡ノートや電話で関係機関との連携に努め、包括的に支援できている。 大津市障害者自立支援協議会各分会、滋賀県知的ハンディを持つ人の福祉協議会等を中心として、圏域・地域の会議に参画し、地域の実情や重点的なニーズについても把握するように努めている。 登録の際聞き取りノートに面談で聞いた情報を記録している。記録システムや連絡ノートにより記録は共有されている。毎月会議で話し合いが持たれているとともに、必要に応じて随時サービス提供の見直しも
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.障害状態に応じた職員配置を実施している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.年齢、障害状況を問わず受け入れるよう努めている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 4.緊急時の利用にも対応している。	
	⑦本人の日常性への配慮	<input checked="" type="checkbox"/> 1.本人の日常生活に配慮した、職員配置、環境に配慮している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.希望があれば学校、作業所等へ通える体制がとれる。(送迎支援等)	
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.利用者の関わっている関係機関(学校、作業所等)との連携に努めている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 4.ショート利用による本人の機能低下の防止に努めている。	
	⑧地域の情報把握	<input checked="" type="checkbox"/> 1.地域の障害者の情報を把握するよう努めている。	
		<input type="checkbox"/> 2.登録の際、家庭訪問をして情報の把握に努めている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.登録の際、来所面談等をして情報の把握に努めている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 4.登録の際、来所面談等をして情報の把握に努めている。	
⑨サービスの標準化	<input checked="" type="checkbox"/> 1.どの職員においても、同じ質のサービスが提供できるよう工夫している。(工夫とは記録、情報交換等を含む会議の実施等)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 2.随時、サービス提供の見直しに努めている。		
	<input type="checkbox"/> 3.サービス提供マニュアルに対して、利用者の同意を取っている。		
	<input type="checkbox"/> 3.サービス提供マニュアルに対して、利用者の同意を取っている。		
31項目中 29項目 評価結果 (A)・B・C			
(2)健康管理などへの支援	①健康管理と健康に対する職員研修	<input checked="" type="checkbox"/> 1.利用者の体調の変化に気をつけながらサービス提供を行っている。	体調不良の時は基本的にはお迎えに来てもらい家族対応をお願いしているが、協力的に相談に応じている。障害特性や健康に対する研修会にも参加し、復命書にて全職員に周知している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.利用者の健康状況、体調変化への対応を職員が周知している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.緊急対応の記録の作成に努めている。	
		<input type="checkbox"/> 4.体調不良等に対応できる看護職が配置されている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 5.障害特性や健康に対する学習会を実施している。	
		<input type="checkbox"/> 5.障害特性や健康に対する学習会を実施している。	
5項目中 4項目 評価結果 (A)・B・C			
(3)利用者評価の受け止め	①サービス提供時の利用者への評価とサービス評価体制の整備	<input type="checkbox"/> 1.サービスに対する評価の場として、利用者会を実施している。	必要なケースは専門職との連携を行い、必要なアセスメント、支援の質の向上に取り組んでいる。
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.サービスに対する評価の場として、アンケートを実施している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.事業所内にサービス改善のための体制を整備している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 4.外部の機関と連携し、サービス評価に努めている。	
		<input type="checkbox"/> 4.外部の機関と連携し、サービス評価に努めている。	
4項目中 3項目 評価結果 (A)・B・C			

5 児童デイサービス、重症心身障害児通園事業(施設) (非該当)

発達期における障害児へのサービス提供には、本人への療育活動の場での支援とともに、保護者への配慮や相談支援、在宅生活への支援、さらには保健医療機関との連携も必要です。
このため、家庭での生活状況やニーズの把握など養育者(保護者)との連絡や養育者への相談支援の状況、生活支援との一体的な発達支援やサービス利用後のフォローアップなどを評価します。
また、ここで言うところの利用者とは、本人及び保護者を指します。

中項目	小項目(質問項目)	着 眼 点	コ メ ン ト
(1)障害児通園デイサービスの提供	①サービス利用	<input type="checkbox"/> 1.療育の内容、本人の状況、家庭での状況について保護者と連絡を密にとっている。(連絡帳、電話、ファクス、インターネット等の活用)	
		<input type="checkbox"/> 2.日中の療育プログラムが本人の障害状態に応じて複数ある。	
		<input type="checkbox"/> 3.プログラムに本人や保護者の意向が反映されている。	
		<input type="checkbox"/> 4.地域の保育園との交流や連携に努めている。	
		<input type="checkbox"/> 5.プログラムに応じて専門職員(P.T、O.T、S.T等)を配置している。	
		<input type="checkbox"/> 6.サービス提供中の記録に努めている。	

	②保護者への支援	<input type="checkbox"/> 1.開設日以外に日を設定する等により、保護者の相談に応じている。
	<input type="checkbox"/> 2.状況に応じて医療保健機関等と連携して、保護者の支援に努めている。	
	<input type="checkbox"/> 3.保護者の障害受容、不安の除去などに努めている。	
	<input type="checkbox"/> 4.保護者同士の、ネットワークの育成に努めている。	
	③在宅生活への支援、対応	<input type="checkbox"/> 1.家庭訪問などにより家庭での状況把握や支援に努めている。
	<input type="checkbox"/> 2.他の関係機関と連携しながら、在宅生活の支援に努めている。	
	<input type="checkbox"/> 3.サービスを体験する機会を設けている。	
	<input type="checkbox"/> 4.生活支援プランの中に、療育活動が位置づいていることを意識している。	
	④フォローアップ	<input type="checkbox"/> 1.卒園後も利用者の状況把握に努めている。
	<input type="checkbox"/> 2.卒園後も教育機関との連携に努めている。	
	<input type="checkbox"/> 3.卒園後も利用者に関するケア会議などに参加している。	
	⑤食事援助	<input type="checkbox"/> 1.利用者ニーズに基づいて、食事が提供されている。
	<input type="checkbox"/> 2.利用者の障害状態に応じた食事援助がなされている。(調理法、食器、介助方法、自助具等)	
	<input type="checkbox"/> 3.適時、適温の提供や食事の雰囲気作りに努めている。	
	⑥排泄援助	<input type="checkbox"/> 1.利用者の障害状態に応じた排泄援助が、随時なされている。(便器、介助等)
	<input type="checkbox"/> 2.プライバシーが保護されている。	
	⑦建物、設備の環境	<input type="checkbox"/> 1.利用者の障害状態に応じた環境づくりに配慮している。
	<input type="checkbox"/> 2.スムーズに移動できるよう、日頃から整理整頓に努めている。	
	<input type="checkbox"/> 3.緊急時の連絡網が、整備された住環境づくりに努めている。	
	<input type="checkbox"/> 4.トイレの美化など住環境の整備に努めている。	
⑧サービスの標準化	<input type="checkbox"/> 1.どの職員においても、同じ質のサービスが提供できるよう工夫している。(工夫とは記録、情報交換等を含む会議の実施等)	
<input type="checkbox"/> 2.随時、サービス提供の見直しに努めている。		
<input type="checkbox"/> 3.サービス提供マニュアルに対して、利用者の同意を取っている。		
29項目中 項目 評価結果 A・B・C		
(2)健康管理などへの支援	①健康管理と健康に対する職員研修	<input type="checkbox"/> 1.利用者の体調の変化に気をつけながらサービス提供を行っている。
		<input type="checkbox"/> 2.利用者の健康状況、体調変化への対応を職員が周知している。
		<input type="checkbox"/> 3.緊急対応の記録の作成に努めている。
		<input type="checkbox"/> 4.体調不良等に対応できる看護職が配置されている。
		<input type="checkbox"/> 5.障害特性や健康に対する学習会を実施している。
		5項目中 項目 評価結果 A・B・C
(3)利用者評価の受け止め	①サービス提供時の利用者の評価とサービス評価体制の整備	<input type="checkbox"/> 1.サービスに対する評価の場として、利用者会を実施している。
		<input type="checkbox"/> 2.サービスに対する評価の場として、アンケートを実施している。
		<input type="checkbox"/> 3.事業所内にサービス改善のための体制を整備している。
		<input type="checkbox"/> 4.外部の機関と連携し、サービス評価に努めている。
		4項目中 項目 評価結果 A・B・C